

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	一般教養 I																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	選択必修A																														
授業方法	演習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける																														
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する																														
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級に合格する																														
教科書	問題集・プリント																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>訓読み・送り仮名</td></tr> <tr><td>2</td><td>熟語</td></tr> <tr><td>3</td><td>異字同訓・同音異義</td></tr> <tr><td>4</td><td>誤字訂正 1</td></tr> <tr><td>5</td><td>誤字訂正 2、類義語</td></tr> <tr><td>6</td><td>反対語</td></tr> <tr><td>7</td><td>漢字の意味・使い方</td></tr> <tr><td>8</td><td>項目別模擬試験 1</td></tr> <tr><td>9</td><td>項目別模擬試験 2</td></tr> <tr><td>10</td><td>項目別模擬試験 3</td></tr> <tr><td>11</td><td>直前模擬試験 1</td></tr> <tr><td>12</td><td>直前模擬試験 2</td></tr> <tr><td>13</td><td>直前模擬試験 3</td></tr> <tr><td>14</td><td>直前模擬試験 4</td></tr> <tr><td>15</td><td>直前模擬試験 5</td></tr> </table>	1	訓読み・送り仮名	2	熟語	3	異字同訓・同音異義	4	誤字訂正 1	5	誤字訂正 2、類義語	6	反対語	7	漢字の意味・使い方	8	項目別模擬試験 1	9	項目別模擬試験 2	10	項目別模擬試験 3	11	直前模擬試験 1	12	直前模擬試験 2	13	直前模擬試験 3	14	直前模擬試験 4	15	直前模擬試験 5
1	訓読み・送り仮名																														
2	熟語																														
3	異字同訓・同音異義																														
4	誤字訂正 1																														
5	誤字訂正 2、類義語																														
6	反対語																														
7	漢字の意味・使い方																														
8	項目別模擬試験 1																														
9	項目別模擬試験 2																														
10	項目別模擬試験 3																														
11	直前模擬試験 1																														
12	直前模擬試験 2																														
13	直前模擬試験 3																														
14	直前模擬試験 4																														
15	直前模擬試験 5																														
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	職業実務 I																
実務家教員	○																
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	1 年次																
開講学期	後期																
科目区分	選択必修A																
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																
授業時間	1 5 時間																
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分） ※8 コマ目のみ 6 0 分																
授業概要	実務経験者の講義を受け、研究および発表を通じて地方行政の取り組みを学ぶ																
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う																
達成目標	地方行政に関する基礎知識を身に付け、地元の発展に寄与する提案を発表し有識者からの評価を受ける。																
教科書	なし																
特記	実務経験者による講義を基にした演習																
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>地方行政の取り組み（講義）</td></tr> <tr><td>2</td><td>地方行政の取り組み（講義）</td></tr> <tr><td>3</td><td>課題研究 1</td></tr> <tr><td>4</td><td>課題研究 2</td></tr> <tr><td>5</td><td>課題研究 3</td></tr> <tr><td>6</td><td>研究発表準備</td></tr> <tr><td>7</td><td>研究発表プレゼンテーション</td></tr> <tr><td>8</td><td>振り返り</td></tr> </table>	1	地方行政の取り組み（講義）	2	地方行政の取り組み（講義）	3	課題研究 1	4	課題研究 2	5	課題研究 3	6	研究発表準備	7	研究発表プレゼンテーション	8	振り返り
1	地方行政の取り組み（講義）																
2	地方行政の取り組み（講義）																
3	課題研究 1																
4	課題研究 2																
5	課題研究 3																
6	研究発表準備																
7	研究発表プレゼンテーション																
8	振り返り																
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評																
備考	福井県庁																

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および一般教養に関する問題演習
授業の進め方	指定された範囲の問題を電卓にて計算、および一般教養問題集による演習
達成目標	電卓技能検定 3・4 級の合格、および一般教養知識の底上げ
教科書	検定対策テキスト・問題集、一般教養問題集
特記	
授業計画	1 電卓の基礎知識、または一般教養に関する問題演習 2 加減算・見取算練習、または一般教養に関する問題演習 3 乗除算練習・伝票算練習、または一般教養に関する問題演習 4 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 5 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 6 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 7 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 8 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 9 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 10 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 11 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 12 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 13 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 14 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習 15 電卓総合演習、または一般教養に関する問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習もしくは一般教養問題演習の得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	キャリアデザイン I																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	共通選択																														
授業方法	演習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	公務員の全般的な仕事を理解し、公務に必要なマナー・応対力・一般常識の基礎を学ぶ																														
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う																														
達成目標	公務員の業務内容を理解し、公務員を目指す者として相応しい学生になる																														
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>公務員全般ガイダンス</td></tr> <tr><td>2</td><td>公務員職種別ガイダンス1</td></tr> <tr><td>3</td><td>公務員職種別ガイダンス2</td></tr> <tr><td>4</td><td>公務員職種別ガイダンス3</td></tr> <tr><td>5</td><td>公務員試験研究</td></tr> <tr><td>6</td><td>面接の基本</td></tr> <tr><td>7</td><td>入退室の仕方、身嗜みチェック</td></tr> <tr><td>8</td><td>模擬面接1（初級効果測定）</td></tr> <tr><td>9</td><td>公務員試験成功体験ガイダンス</td></tr> <tr><td>10</td><td>自己分析</td></tr> <tr><td>11</td><td>自己PR作成</td></tr> <tr><td>12</td><td>面接質問項目（想定質問）</td></tr> <tr><td>13</td><td>受験先研究</td></tr> <tr><td>14</td><td>志望動機作成</td></tr> <tr><td>15</td><td>模擬面接2（中級効果測定）</td></tr> </table>	1	公務員全般ガイダンス	2	公務員職種別ガイダンス1	3	公務員職種別ガイダンス2	4	公務員職種別ガイダンス3	5	公務員試験研究	6	面接の基本	7	入退室の仕方、身嗜みチェック	8	模擬面接1（初級効果測定）	9	公務員試験成功体験ガイダンス	10	自己分析	11	自己PR作成	12	面接質問項目（想定質問）	13	受験先研究	14	志望動機作成	15	模擬面接2（中級効果測定）
1	公務員全般ガイダンス																														
2	公務員職種別ガイダンス1																														
3	公務員職種別ガイダンス2																														
4	公務員職種別ガイダンス3																														
5	公務員試験研究																														
6	面接の基本																														
7	入退室の仕方、身嗜みチェック																														
8	模擬面接1（初級効果測定）																														
9	公務員試験成功体験ガイダンス																														
10	自己分析																														
11	自己PR作成																														
12	面接質問項目（想定質問）																														
13	受験先研究																														
14	志望動機作成																														
15	模擬面接2（中級効果測定）																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	キャリアデザインⅡ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	共通選択																														
授業方法	演習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	面接試験に向けての準備作業法を修得し、春試験2試験種に向けた面接指導を行う																														
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する																														
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる																														
教科書	なし																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 3</td></tr> <tr><td>4</td><td>面接講義</td></tr> <tr><td>5</td><td>面接効果測定</td></tr> <tr><td>6</td><td>模擬面接Ⅰ準備</td></tr> <tr><td>7</td><td>模擬面接Ⅰ準備</td></tr> <tr><td>8</td><td>模擬面接Ⅰ 1</td></tr> <tr><td>9</td><td>模擬面接Ⅰ 2</td></tr> <tr><td>10</td><td>模擬面接Ⅰ 3</td></tr> <tr><td>11</td><td>模擬面接Ⅱ準備</td></tr> <tr><td>12</td><td>模擬面接Ⅱ準備</td></tr> <tr><td>13</td><td>模擬面接Ⅱ 1</td></tr> <tr><td>14</td><td>模擬面接Ⅱ 2</td></tr> <tr><td>15</td><td>模擬面接Ⅱ 3</td></tr> </table>	1	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 1	2	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 2	3	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 3	4	面接講義	5	面接効果測定	6	模擬面接Ⅰ準備	7	模擬面接Ⅰ準備	8	模擬面接Ⅰ 1	9	模擬面接Ⅰ 2	10	模擬面接Ⅰ 3	11	模擬面接Ⅱ準備	12	模擬面接Ⅱ準備	13	模擬面接Ⅱ 1	14	模擬面接Ⅱ 2	15	模擬面接Ⅱ 3
1	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 1																														
2	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 2																														
3	公官庁研究・エントリーシート・面接カード作成 3																														
4	面接講義																														
5	面接効果測定																														
6	模擬面接Ⅰ準備																														
7	模擬面接Ⅰ準備																														
8	模擬面接Ⅰ 1																														
9	模擬面接Ⅰ 2																														
10	模擬面接Ⅰ 3																														
11	模擬面接Ⅱ準備																														
12	模擬面接Ⅱ準備																														
13	模擬面接Ⅱ 1																														
14	模擬面接Ⅱ 2																														
15	模擬面接Ⅱ 3																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、提出物や授業への参加姿勢を含め総合的に評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	実習
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ビジネスマナーの基礎知識 2 身だしなみと立ち居振る舞い 3 敬語とビジネス用語 4 応接・接遇のマナー 5 電話応対基礎編（講義） 6 電話応対基礎編（練習） 7 電話応対基礎編（実践練習） 8 電話応対応用編（講義） 9 電話応対応用編（練習） 10 電話応対応用編（実践練習） 11 伝言を含む電話応対（講義 1） 12 伝言を含む電話応対（練習 1） 13 伝言を含む電話応対（講義 2） 14 伝言を含む電話応対（練習 2） 15 伝言を含む電話応対（実践練習 1） 16 伝言を含む電話応対（実践練習 2） 17 効果測定準備 18 電話応対効果測定 19 冠婚葬祭のマナー 20 郵便のマナー 21 電話での道案内 22 クレーム対応 23-27 ビジネスマナー実務 28-30 ビジネスマナー総合
成績評価方法 (試験実施方法)	筆記試験および効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	授業順序は変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス文書作成
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	ビジネス文書を作成する上で必要となるレベルのWORDの操作方法を学ぶ
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する
達成目標	正しい日本語の使い方を理解し、ビジネス文書を作成出来るようになる
教科書	オリジナル教材
特記	
授業計画	1 文字入力の基礎 1 2 ビジネス文書作成 1（案内文） 3 ビジネス文書作成 2（案内文） 4 ビジネス文書作成 3（送付状） 5 ビジネス文書作成 4（送付状） 6 ビジネス文書作成 5（社内文書） 7 ビジネス文書作成 6（社内文書） 8 ビジネス文書作成 7（表作成） 9 ビジネス文書作成 8（表作成） 10 ビジネス文書作成 9（文章と表の組み合わせ） 11 ビジネス文書作成 1 0（メール文章・メールの設定） 12 正しい日本語 1 13 正しい日本語 2 14 正しい日本語 3 15 正しい日本語 4
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による課題の出来栄え、授業への参加姿勢で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	パソコン実習 I																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	共通選択																														
授業方法	実習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ																														
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する																														
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>パソコンの基本操作 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>パソコンの基本操作 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>パソコンの基本操作 3</td></tr> <tr><td>4</td><td>パソコンの基本操作 4</td></tr> <tr><td>5</td><td>パソコンの基本操作 5</td></tr> <tr><td>6</td><td>パソコンの基本操作 6</td></tr> <tr><td>7</td><td>OS/OFFICEの基本（座学）</td></tr> <tr><td>8</td><td>WORDの基本操作 1</td></tr> <tr><td>9</td><td>WORDの基本操作 2</td></tr> <tr><td>10</td><td>WORDの基本操作 3</td></tr> <tr><td>11</td><td>WORD効果測定</td></tr> <tr><td>12</td><td>EXCEL基本操作 1</td></tr> <tr><td>13</td><td>EXCEL基本操作 2</td></tr> <tr><td>14</td><td>EXCEL基本操作 3</td></tr> <tr><td>15</td><td>EXCEL効果測定</td></tr> </table>	1	パソコンの基本操作 1	2	パソコンの基本操作 2	3	パソコンの基本操作 3	4	パソコンの基本操作 4	5	パソコンの基本操作 5	6	パソコンの基本操作 6	7	OS/OFFICEの基本（座学）	8	WORDの基本操作 1	9	WORDの基本操作 2	10	WORDの基本操作 3	11	WORD効果測定	12	EXCEL基本操作 1	13	EXCEL基本操作 2	14	EXCEL基本操作 3	15	EXCEL効果測定
1	パソコンの基本操作 1																														
2	パソコンの基本操作 2																														
3	パソコンの基本操作 3																														
4	パソコンの基本操作 4																														
5	パソコンの基本操作 5																														
6	パソコンの基本操作 6																														
7	OS/OFFICEの基本（座学）																														
8	WORDの基本操作 1																														
9	WORDの基本操作 2																														
10	WORDの基本操作 3																														
11	WORD効果測定																														
12	EXCEL基本操作 1																														
13	EXCEL基本操作 2																														
14	EXCEL基本操作 3																														
15	EXCEL効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	共通選択	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 1 級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語
	2	同音異義・異字同訓
	3	誤字訂正、類義語・反対語
	4	漢字の意味・使い方
	5	漢字の意味・使い方 2
	6	ことわざ・故事成語・慣用句
	7	特殊な漢字の読み書き
	8	項目別模擬試験 1
	9	項目別模擬試験 2
	10	項目別模擬試験 3
	11	直前模擬試験 1
	12	直前模擬試験 2
	13	直前模擬試験 3
	14	直前模擬試験 4
	15	直前模擬試験 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	共通選択
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	電卓の学習を通じ計算技能を養う、および一般教養に関する問題演習
授業の進め方	指定された範囲の問題を電卓にて計算、および一般教養問題集による演習
達成目標	電卓技能検定 1 ・ 2 級の合格、および計算力の向上
教科書	検定対策テキストおよび問題集、一般教養問題集、適性試験問題集
特記	
授業計画	1 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 2 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 3 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 4 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 5 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 6 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 7 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 8 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 9 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 10 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 11 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 12 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 13 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 14 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習 15 電卓総合演習、または一般教養・計算に関する問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習および一般教養・計算問題演習の得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修B	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じての対人コミュニケーション能力を身に着ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自己分析、自己PRの完成及び発表	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己PRとは
	2	自己分析の方法・注意点
	3～5	自己分析作業
	6	自己PRの作り方
	7～11	自己PRの作成作業
	12～13	自己PR修正作業
	14～15	自己PR発表
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択必須B
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 1 級に合格する
教科書	問題集・プリント
特記	
授業計画	1 訓読み・送り仮名・熟語 2 同音異義・異字同訓 3 誤字訂正、類義語・反対語 4 漢字の意味・使い方 5 漢字の意味・使い方 2 6 ことわざ・故事成語・慣用句 7 特殊な漢字の読み書き 8 項目別模擬試験 1 9 項目別模擬試験 2 10 項目別模擬試験 3 11 直前模擬試験 1 12 直前模擬試験 2 13 直前模擬試験 3 14 直前模擬試験 4 15 直前模擬試験 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択必須B	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能検定 1 ・ 2 級に合格する	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習 1
	3	電卓実践演習 2
	4	電卓実践演習 3
	5	電卓実践演習 4
	6	電卓実践演習 5
	7	電卓実践演習 6
	8	電卓実践演習 7
	9	電卓実践演習 8
	10	電卓実践演習 9
	11	電卓実践演習 1 0
	12	電卓実践演習 1 1
	13	電卓実践演習 1 2
	14	電卓実践演習 1 3
	15	電卓実践演習 1 4
成績評価方法 (試験実施方法)	電卓演習における得点を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的 I 数的推理
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修C
授業方法	講義
授業時間	5 2 時間
授業コマ数	2 6 コマ
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 数と文字式の計算 2 方程式（方程式、不定方程式） 3 方程式（不等式、過不足算） 4 整数・計算パズル（約数と倍数） 5 整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質） 6 整数・計算パズル（数列、n 進法） 7 整数・計算パズル（その他、整数に関する問題） 8 科目試験第 1 回 9 割合と比（割合、比） 10 割合と比（比） 11 割合と比（売買算） 12 割合と比（濃度） 13 割合と比（濃度） 14 速さ（速さ） 15 速さ（旅人算） 16 速さ（旅人算、通過算） 17 速さ（流水算、時計算） 18 科目試験第 2 回 19 その他文章題（仕事算、給排水算） 20 その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算） 21 その他文章題（年齢算） 22 その他文章題（平均算） 23 場合の数（場合の数） 24 場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率） 25 確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値） 26 科目試験第 3 回
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修C
授業方法	講義
授業時間	3 6 時間
授業コマ数	1 8 コマ
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 論理（対偶と三段論法） 2 論理（ド・モルガンの法則、論理と集合） 3 集合の要素（ベン図） 4 集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定） 5 順序（順序の変動） 6 順序（順序の数値条件） 7 順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表） 8 方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて） 9 科目試験 1 回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて） 10 方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係） 11 対応（対応関係、スケジュール表） 12 対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり） 13 勝敗（リーグ戦、トーナメント戦） 14 うそつき 15 暗号 16 推理・手順（他人の判断から判断する） 17 推理・手順（カードゲーム、石取りゲーム、てんびん） 18 科目試験 2 回目、推理・手順（手順）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎数的Ⅲ 空間把握 ・ 資料解釈
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修C
授業方法	講義
授業時間	4 4 時間
授業コマ数	2 2 コマ
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡） 2 道順・一筆書き・位相（道順、一筆書き・位相）、平面構成（折り紙） 3 平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成） 4 正多面体・展開図（正多面体、展開図） 5 立体構成（サイコロ） 6 立体構成（積木の問題、投影図） 7 科目試験 1 回目・総復習 8 立体構成（立体の切断、回転体） 9 平面図形の計量（角度） 10 平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理） 11 平面図形の計量（相似比） 12 平面図形の計量（面積比） 13 科目試験 2 回目・平面図形の計量（円） 14 平面図形の計量（円、扇形と移動図形） 15 立体図形の計量（立体の体積） 16 立体図形の計量（立体の表面積・断面積） 17 立体図形の計量（立体の体積比） 18 科目試験 3 回目・総復習 19 資料解釈（実数・割合） 20 資料解釈（構成比） 21 資料解釈（指数・増加率） 22 資料解釈（相関図・三角グラフ・総復習）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会科学Ⅰ 政治
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修C
授業方法	講義
授業時間	3 2 時間
授業コマ数	1 6 コマ
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 政治の基本概念（国家論） 2 政治制度論（社会契約説、三権分立） 3 政治制度論（各国の政治制度） 4 日本国憲法の特色、基本的人権総論 5 幸福追求権、平等権 6 自由権 7 社会権、受益権 8 憲法改正の手続き、国会の機構と運営 9 国会の機構と運営 10 内閣の機構と運営 11 裁判所の機構と運営 12 裁判所の機構と運営、地方自治 13 地方自治 14 政治過程論（選挙制度） 15 政治過程論（選挙制度） 16 政治の基本概念
成績評価方法 （試験実施方法）	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎社会科学Ⅱ 経済
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修C
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な経済の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 経済社会の変容 2 現代の企業 3 現代の市場 4 国民所得 5 経済成長と景気循環 6 通貨制度と金融政策 7 財政制度と財政政策 8 財政制度と財政政策 9 日本経済の動向 10 貿易と外国為替 11 貿易と外国為替 12 国際経済の動向 13 国際経済の動向
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅲ 社会	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修C	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ6 0 分	
授業概要	労働問題・環境問題など、社会分野の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会問題の基礎知識を習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会理論
	2	労働問題
	3	社会保障
	4	社会保障
	5	環境問題
	6	環境問題
	7	国際関係
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎自然科学Ⅰ 生物
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択必修C
授業方法	講義
授業時間	2 0 時間
授業コマ数	1 0 コマ
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習
達成目標	生体における知識を身に着ける。自然環境や生態系への理解を深める
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 生体の構造 1 2 生体の構造 2 3 生体内の代謝 1 4 生体内の代謝 2 5 生殖と発生 6 遺伝と変異 7 刺激の受容と反応 8 内部環境の恒常性と調節 9 からだの防衛反応 10 生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	基礎言語Ⅰ 文理・国語																
実務家教員																	
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	1 年次																
開講学期	前期																
科目区分	選択必修C																
授業方法	講義																
授業時間	1 5 時間																
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分																
授業概要	文章読解と基礎的な国語を並行して進める																
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける																
教科書	オリジナルテキスト																
特記																	
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>要旨把握 1、文法 1、四字熟語 1、ことわざ 1、文学史 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>要旨把握 2、文法 2、四字熟語 2、ことわざ 2、文学史 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>内容合致 1、文法 3、四字熟語 3、ことわざ 3、文学史 3</td></tr> <tr><td>4</td><td>内容合致 2、文法 4、四字熟語 4、ことわざ 4、文学史 4</td></tr> <tr><td>5</td><td>文章整序、文法 5、四字熟語 5、ことわざ 5、文学史 5</td></tr> <tr><td>6</td><td>空欄補充、文法 6、四字熟語 6、ことわざ 6、文学史 6</td></tr> <tr><td>7</td><td>演習問題、文法 7、四字熟語 7、ことわざ 7、文学史 7</td></tr> <tr><td>8</td><td>文法 8、四字熟語 8、ことわざ 8、文学史 8</td></tr> </table>	1	要旨把握 1、文法 1、四字熟語 1、ことわざ 1、文学史 1	2	要旨把握 2、文法 2、四字熟語 2、ことわざ 2、文学史 2	3	内容合致 1、文法 3、四字熟語 3、ことわざ 3、文学史 3	4	内容合致 2、文法 4、四字熟語 4、ことわざ 4、文学史 4	5	文章整序、文法 5、四字熟語 5、ことわざ 5、文学史 5	6	空欄補充、文法 6、四字熟語 6、ことわざ 6、文学史 6	7	演習問題、文法 7、四字熟語 7、ことわざ 7、文学史 7	8	文法 8、四字熟語 8、ことわざ 8、文学史 8
1	要旨把握 1、文法 1、四字熟語 1、ことわざ 1、文学史 1																
2	要旨把握 2、文法 2、四字熟語 2、ことわざ 2、文学史 2																
3	内容合致 1、文法 3、四字熟語 3、ことわざ 3、文学史 3																
4	内容合致 2、文法 4、四字熟語 4、ことわざ 4、文学史 4																
5	文章整序、文法 5、四字熟語 5、ことわざ 5、文学史 5																
6	空欄補充、文法 6、四字熟語 6、ことわざ 6、文学史 6																
7	演習問題、文法 7、四字熟語 7、ことわざ 7、文学史 7																
8	文法 8、四字熟語 8、ことわざ 8、文学史 8																
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合教養演習Ⅰ 基礎教養
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	前期
科目区分	選択必修C
授業方法	演習
授業時間	5 6 時間
授業コマ数	2 8 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・文章理解の知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	一般教養力検定 2 級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 出題科目の分野別学習 1 2 出題科目の分野別学習 2 3 出題科目の分野別学習 3 4 出題科目の分野別学習 4 5 出題科目の分野別学習 5 6 出題科目の分野別学習 6 7 出題科目の分野別学習 7 8 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 1 9 模擬試験の解説（知能系科目） 10 模擬試験の解説（知識系科目） 11 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 2 12 模擬試験の解説（知能系科目） 13 模擬試験の解説（知識系科目） 14 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 3 15 模擬試験の解説（知能系科目） 16 模擬試験の解説（知識系科目） 17 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 4 18 模擬試験の解説（知能系科目） 19 模擬試験の解説（知識系科目） 20 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 5 21 模擬試験の解説（知能系科目） 22 模擬試験の解説（知識系科目） 23 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 6 24 模擬試験の解説（知能系科目） 25 模擬試験の解説（知識系科目） 26 一般教養力検定 2 級タイプの模擬試験 7 27 模擬試験の解説（知能系科目） 28 模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合教養演習Ⅱ 実践教養
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択必修C
授業方法	演習
授業時間	5 6 時間
授業コマ数	2 8 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・判断推理・空間把握・文章理解・政治・経済・社会の知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	一般教養力検定 1 級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験
特記	
授業計画	1 出題科目の分野別学習 1 2 出題科目の分野別学習 2 3 出題科目の分野別学習 3 4 出題科目の分野別学習 4 5 出題科目の分野別学習 5 6 出題科目の分野別学習 6 7 出題科目の分野別学習 7 8 一般教養力検定 1 級タイプの模擬試験 1 9 模擬試験の解説（知能系科目） 10 模擬試験の解説（知識系科目） 11 一般教養力検定 1 級タイプの模擬試験 2 12 模擬試験の解説（知能系科目） 13 模擬試験の解説（知識系科目） 14 一般教養力検定 1 級タイプの模擬試験 3 15 模擬試験の解説（知能系科目） 16 模擬試験の解説（知識系科目） 17 一般教養力検定 1 級タイプの模擬試験 4 18 模擬試験の解説（知能系科目） 19 模擬試験の解説（知識系科目） 20 一般教養力検定 1 級タイプの模擬試験 5 21 模擬試験の解説（知能系科目） 22 模擬試験の解説（知識系科目） 23 一般教養力検定 1 級タイプの模擬試験 6 24 模擬試験の解説（知能系科目） 25 模擬試験の解説（知識系科目） 26 一般教養力検定 1 級タイプの模擬試験 7 27 模擬試験の解説（知能系科目） 28 模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																												
授業科目	基礎演習Ⅱ 社会科学																												
実務家教員																													
学部・学科	法律行政科 2 年制																												
履修年次	1 年次																												
開講学期	前期																												
科目区分	選択必修C																												
授業方法	演習																												
授業時間	2 8 時間																												
授業コマ数	1 4 コマ																												
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る																												
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う																												
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる																												
教科書	オリジナル問題集・配布プリント																												
特記																													
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>政治の基本理念、政治制度論</td></tr> <tr><td>2</td><td>基本的人権①</td></tr> <tr><td>3</td><td>基本的人権②</td></tr> <tr><td>4</td><td>国会の機構と運営</td></tr> <tr><td>5</td><td>内閣の機構と運営</td></tr> <tr><td>6</td><td>裁判所の機構と運営</td></tr> <tr><td>7</td><td>地方自治、選挙制度</td></tr> <tr><td>8</td><td>科目試験 1</td></tr> <tr><td>9</td><td>現代の企業、現代の市場</td></tr> <tr><td>10</td><td>国民所得</td></tr> <tr><td>11</td><td>通貨制度と金融政策</td></tr> <tr><td>12</td><td>財政制度と財政政策</td></tr> <tr><td>13</td><td>貿易と外国為替、国際経済の動向</td></tr> <tr><td>14</td><td>科目試験 2</td></tr> </table>	1	政治の基本理念、政治制度論	2	基本的人権①	3	基本的人権②	4	国会の機構と運営	5	内閣の機構と運営	6	裁判所の機構と運営	7	地方自治、選挙制度	8	科目試験 1	9	現代の企業、現代の市場	10	国民所得	11	通貨制度と金融政策	12	財政制度と財政政策	13	貿易と外国為替、国際経済の動向	14	科目試験 2
1	政治の基本理念、政治制度論																												
2	基本的人権①																												
3	基本的人権②																												
4	国会の機構と運営																												
5	内閣の機構と運営																												
6	裁判所の機構と運営																												
7	地方自治、選挙制度																												
8	科目試験 1																												
9	現代の企業、現代の市場																												
10	国民所得																												
11	通貨制度と金融政策																												
12	財政制度と財政政策																												
13	貿易と外国為替、国際経済の動向																												
14	科目試験 2																												
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																												
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある																												

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	憲法理論	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修D	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	憲法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	憲法総論（憲法の意味・日本憲法史）
	2	国民主権・平和主義
	3	基本的人権（1）自由権
	4	基本的人権（2）社会権・参政権
	5	基本的人権（3）新しい人権・法の下での平等
	6	統治機構（1）権力分立・国会
	7	統治機構（2）内閣・裁判所
	8	財政・地方自治・憲法改正
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民法総則	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修D	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	民法総則の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	通則
	2	人
	3	法人
	4	物
	5	法律行為（1）
	6	法律行為（2）
	7	代理
	8	時効
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	憲法理論演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修D	
授業方法	演習	
授業時間	3 8 時間	
授業コマ数	1 9 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	憲法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	憲法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民法総則演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択必修D	
授業方法	演習	
授業時間	3 8 時間	
授業コマ数	1 9 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	民法総則の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	民法総則の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習 I			
実務家教員				
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択必修D			
授業方法	演習			
授業時間	1 7 0 時間			
授業コマ数	8 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）			
授業概要	1 年次実施科目の知識をアウトプットし基礎知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	1 年次実施科目の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	答案演習（1）	44	答案演習（2 2）解説
	2	答案演習（1）解説	45	答案演習（2 3）
	3	答案演習（2）	46	答案演習（2 3）解説
	4	答案演習（2）解説	47	答案演習（2 4）
	5	答案演習（3）	48	答案演習（2 4）解説
	6	答案演習（3）解説	49	答案演習（2 5）
	7	答案演習（4）	50	答案演習（2 5）解説
	8	答案演習（4）解説	51	答案演習（2 6）
	9	答案演習（5）	52	答案演習（2 6）解説
	10	答案演習（5）解説	53	答案演習（2 7）
	11	答案演習（6）	54	答案演習（2 7）解説
	12	答案演習（6）解説	55	答案演習（2 8）
	13	答案演習（7）	56	答案演習（2 8）解説
	14	答案演習（7）解説	57	答案演習（2 9）
	15	答案演習（8）	58	答案演習（2 9）解説
	16	答案演習（8）解説	59	答案演習（3 0）
	17	答案演習（9）	60	答案演習（3 0）解説
	18	答案演習（9）解説	61	答案演習（3 1）
	19	答案演習（1 0）	62	答案演習（3 1）解説
	20	答案演習（1 0）解説	63	答案演習（3 2）
	21	答案演習（1 1）	64	答案演習（3 2）解説
	22	答案演習（1 1）解説	65	答案演習（3 3）
	23	答案演習（1 2）	66	答案演習（3 3）解説
	24	答案演習（1 2）解説	67	答案演習（3 4）
	25	答案演習（1 3）	68	答案演習（3 4）解説
	26	答案演習（1 3）解説	69	答案演習（3 5）
	27	答案演習（1 4）	70	答案演習（3 5）解説
	28	答案演習（1 4）解説	71	答案演習（3 6）
	29	答案演習（1 5）	72	答案演習（3 6）解説
	30	答案演習（1 5）解説	73	答案演習（3 7）
	31	答案演習（1 6）	74	答案演習（3 7）解説

	32	答案演習（１６）解説	75	答案演習（３８）
	33	答案演習（１７）	76	答案演習（３８）解説
	34	答案演習（１７）解説	77	答案演習（３９）
	35	答案演習（１８）	78	答案演習（３９）解説
	36	答案演習（１８）解説	79	答案演習（４０）
	37	答案演習（１９）	80	答案演習（４０）解説
	38	答案演習（１９）解説	81	答案演習（４１）
	39	答案演習（２０）	82	答案演習（４１）解説
	40	答案演習（２０）解説	83	答案演習（４２）
	41	答案演習（２１）	84	答案演習（４２）解説
	42	答案演習（２１）解説	85	まとめ
	43	答案演習（２２）		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制			
履修年次	1 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択必修D			
授業方法	演習			
授業時間	1 7 0 時間			
授業コマ数	8 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）			
授業概要	1 年次実施科目の知識をアウトプットし応用知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	1 年次実施科目の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	答案演習（1）	44	答案演習（2 2）解説
	2	答案演習（1）解説	45	答案演習（2 3）
	3	答案演習（2）	46	答案演習（2 3）解説
	4	答案演習（2）解説	47	答案演習（2 4）
	5	答案演習（3）	48	答案演習（2 4）解説
	6	答案演習（3）解説	49	答案演習（2 5）
	7	答案演習（4）	50	答案演習（2 5）解説
	8	答案演習（4）解説	51	答案演習（2 6）
	9	答案演習（5）	52	答案演習（2 6）解説
	10	答案演習（5）解説	53	答案演習（2 7）
	11	答案演習（6）	54	答案演習（2 7）解説
	12	答案演習（6）解説	55	答案演習（2 8）
	13	答案演習（7）	56	答案演習（2 8）解説
	14	答案演習（7）解説	57	答案演習（2 9）
	15	答案演習（8）	58	答案演習（2 9）解説
	16	答案演習（8）解説	59	答案演習（3 0）
	17	答案演習（9）	60	答案演習（3 0）解説
	18	答案演習（9）解説	61	答案演習（3 1）
	19	答案演習（1 0）	62	答案演習（3 1）解説
	20	答案演習（1 0）解説	63	答案演習（3 2）
	21	答案演習（1 1）	64	答案演習（3 2）解説
	22	答案演習（1 1）解説	65	答案演習（3 3）
	23	答案演習（1 2）	66	答案演習（3 3）解説
	24	答案演習（1 2）解説	67	答案演習（3 4）
	25	答案演習（1 3）	68	答案演習（3 4）解説
	26	答案演習（1 3）解説	69	答案演習（3 5）
	27	答案演習（1 4）	70	答案演習（3 5）解説
	28	答案演習（1 4）解説	71	答案演習（3 6）
	29	答案演習（1 5）	72	答案演習（3 6）解説
	30	答案演習（1 5）解説	73	答案演習（3 7）
	31	答案演習（1 6）	74	答案演習（3 7）解説

	32	答案演習（１６）解説	75	答案演習（３８）
	33	答案演習（１７）	76	答案演習（３８）解説
	34	答案演習（１７）解説	77	答案演習（３９）
	35	答案演習（１８）	78	答案演習（３９）解説
	36	答案演習（１８）解説	79	答案演習（４０）
	37	答案演習（１９）	80	答案演習（４０）解説
	38	答案演習（１９）解説	81	答案演習（４１）
	39	答案演習（２０）	82	答案演習（４１）解説
	40	答案演習（２０）解説	83	答案演習（４２）
	41	答案演習（２１）	84	答案演習（４２）解説
	42	答案演習（２１）解説	85	まとめ
	43	答案演習（２２）		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択必修D			
授業方法	演習			
授業時間	1 3 0 時間			
授業コマ数	6 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）			
授業概要	2 年次実施科目の知識をアウトプットし基礎知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	2 年次実施科目の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	答案演習（1）	34	答案演習（1 7）解説
	2	答案演習（1）解説	35	答案演習（1 8）
	3	答案演習（2）	36	答案演習（1 8）解説
	4	答案演習（2）解説	37	答案演習（1 9）
	5	答案演習（3）	38	答案演習（1 9）解説
	6	答案演習（3）解説	39	答案演習（2 0）
	7	答案演習（4）	40	答案演習（2 0）解説
	8	答案演習（4）解説	41	答案演習（2 1）
	9	答案演習（5）	42	答案演習（2 1）解説
	10	答案演習（5）解説	43	答案演習（2 2）
	11	答案演習（6）	44	答案演習（2 2）解説
	12	答案演習（6）解説	45	答案演習（2 3）
	13	答案演習（7）	46	答案演習（2 3）解説
	14	答案演習（7）解説	47	答案演習（2 4）
	15	答案演習（8）	48	答案演習（2 4）解説
	16	答案演習（8）解説	49	答案演習（2 5）
	17	答案演習（9）	50	答案演習（2 5）解説
	18	答案演習（9）解説	51	答案演習（2 6）
	19	答案演習（1 0）	52	答案演習（2 6）解説
	20	答案演習（1 0）解説	53	答案演習（2 7）
	21	答案演習（1 1）	54	答案演習（2 7）解説
	22	答案演習（1 1）解説	55	答案演習（2 8）
	23	答案演習（1 2）	56	答案演習（2 8）解説
	24	答案演習（1 2）解説	57	答案演習（2 9）
	25	答案演習（1 3）	58	答案演習（2 9）解説
	26	答案演習（1 3）解説	59	答案演習（3 0）
	27	答案演習（1 4）	60	答案演習（3 0）解説
	28	答案演習（1 4）解説	61	答案演習（3 1）
	29	答案演習（1 5）	62	答案演習（3 1）解説
	30	答案演習（1 5）解説	63	答案演習（3 2）
	31	答案演習（1 6）	64	答案演習（3 2）解説

	32	答案演習（１６）解説	65	まとめ
	33	答案演習（１７）		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択必修D			
授業方法	演習			
授業時間	1 1 0 時間			
授業コマ数	5 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）			
授業概要	2 年次実施科目の知識をアウトプットし応用知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	2 年次実施科目の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	答案演習（1）	29	答案演習（1 5）
	2	答案演習（1）解説	30	答案演習（1 5）解説
	3	答案演習（2）	31	答案演習（1 6）
	4	答案演習（2）解説	32	答案演習（1 6）解説
	5	答案演習（3）	33	答案演習（1 7）
	6	答案演習（3）解説	34	答案演習（1 7）解説
	7	答案演習（4）	35	答案演習（1 8）
	8	答案演習（4）解説	36	答案演習（1 8）解説
	9	答案演習（5）	37	答案演習（1 9）
	10	答案演習（5）解説	38	答案演習（1 9）解説
	11	答案演習（6）	39	答案演習（2 0）
	12	答案演習（6）解説	40	答案演習（2 0）解説
	13	答案演習（7）	41	答案演習（2 1）
	14	答案演習（7）解説	42	答案演習（2 1）解説
	15	答案演習（8）	43	答案演習（2 2）
	16	答案演習（8）解説	44	答案演習（2 2）解説
	17	答案演習（9）	45	答案演習（2 3）
	18	答案演習（9）解説	46	答案演習（2 3）解説
	19	答案演習（1 0）	47	答案演習（2 4）
	20	答案演習（1 0）解説	48	答案演習（2 4）解説
	21	答案演習（1 1）	49	答案演習（2 5）
	22	答案演習（1 1）解説	50	答案演習（2 5）解説
	23	答案演習（1 2）	51	答案演習（2 6）
	24	答案演習（1 2）解説	52	答案演習（2 6）解説
	25	答案演習（1 3）	53	答案演習（2 7）
	26	答案演習（1 3）解説	54	答案演習（2 7）解説
	27	答案演習（1 4）	55	まとめ
	28	答案演習（1 4）解説		
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価			

備考	
----	--

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	卒業論文			
実務家教員				
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	通年			
科目区分	選択必修D			
授業方法	演習			
授業時間	1 5 0 時間			
授業コマ数	7 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）			
授業概要	法律学の中から特定のテーマを選択し論文を作成する。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	2 万字以上で選択テーマにおける論点を幅広く検討する。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	ガイダンス	39	論文作成（2 8）
	2	テーマ別講義（1）	40	論文作成（2 9）
	3	テーマ別講義（2）	41	論文作成（3 0）
	4	テーマ別講義（3）	42	中間発表（3）
	5	テーマ別講義（4）	43	論文作成（3 1）
	6	テーマ別講義（5）	44	論文作成（3 2）
	7	テーマ別講義（6）	45	論文作成（3 3）
	8	テーマ別講義（7）	46	論文作成（3 4）
	9	テーマ別講義（8）	47	論文作成（3 5）
	10	論文作成（1）	48	論文作成（3 6）
	11	論文作成（2）	49	論文作成（3 7）
	12	論文作成（3）	50	論文作成（3 8）
	13	論文作成（4）	51	論文作成（3 9）
	14	論文作成（5）	52	論文作成（4 0）
	15	論文作成（6）	53	中間発表（4）
	16	論文作成（7）	54	論文作成（4 1）
	17	論文作成（8）	55	論文作成（4 2）
	18	論文作成（9）	56	論文作成（4 3）
	19	論文作成（1 0）	57	論文作成（4 4）
	20	中間発表（1）	58	論文作成（4 5）
	21	論文作成（1 1）	59	論文作成（4 6）
	22	論文作成（1 2）	60	論文作成（4 7）
	23	論文作成（1 3）	61	論文作成（4 8）
	24	論文作成（1 4）	62	論文作成（4 9）
	25	論文作成（1 5）	63	論文作成（5 0）
	26	論文作成（1 6）	64	中間発表（5）
	27	論文作成（1 7）	65	論文作成（5 1）
	28	論文作成（1 8）	66	論文作成（5 2）
	29	論文作成（1 9）	67	論文作成（5 3）
	30	論文作成（2 0）	68	論文作成（5 4）
	31	中間発表（2）	69	論文作成（5 5）

	32	論文作成（２１）	70	論文作成（５６）
	33	論文作成（２２）	71	論文作成（５７）
	34	論文作成（２３）	72	論文作成（５８）
	35	論文作成（２４）	73	論文作成（５９）
	36	論文作成（２５）	74	論文作成（６０）
	37	論文作成（２６）	75	論文完成
	38	論文作成（２７）		
成績評価方法 (試験実施方法)	論文内容100% 形式面・内容面を総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	公務員時事対策																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	選択必修E																														
授業方法	講義																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	国内問題・国際問題問わず幅広いジャンルの社会時事を学ぶ																														
授業の進め方	1項目15分程度で、重要な時事ワードを軸に内容を解説し、問題演習を行う																														
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>時事（政治分野 1）</td></tr> <tr><td>2</td><td>時事（政治分野 2）</td></tr> <tr><td>3</td><td>時事（政治分野 3）</td></tr> <tr><td>4</td><td>時事（経済分野 1）</td></tr> <tr><td>5</td><td>時事（経済分野 2）</td></tr> <tr><td>6</td><td>時事（文化 1）</td></tr> <tr><td>7</td><td>時事（文化 2）</td></tr> <tr><td>8</td><td>時事（文化 3）</td></tr> <tr><td>9</td><td>時事（科学 1）</td></tr> <tr><td>10</td><td>時事（科学 2）</td></tr> <tr><td>11</td><td>時事（科学 3）</td></tr> <tr><td>12</td><td>時事（科学 4）</td></tr> <tr><td>13</td><td>時事（科学 5）</td></tr> <tr><td>14</td><td>時事（国際問題 1）</td></tr> <tr><td>15</td><td>時事（国際問題 2）</td></tr> </table>	1	時事（政治分野 1）	2	時事（政治分野 2）	3	時事（政治分野 3）	4	時事（経済分野 1）	5	時事（経済分野 2）	6	時事（文化 1）	7	時事（文化 2）	8	時事（文化 3）	9	時事（科学 1）	10	時事（科学 2）	11	時事（科学 3）	12	時事（科学 4）	13	時事（科学 5）	14	時事（国際問題 1）	15	時事（国際問題 2）
1	時事（政治分野 1）																														
2	時事（政治分野 2）																														
3	時事（政治分野 3）																														
4	時事（経済分野 1）																														
5	時事（経済分野 2）																														
6	時事（文化 1）																														
7	時事（文化 2）																														
8	時事（文化 3）																														
9	時事（科学 1）																														
10	時事（科学 2）																														
11	時事（科学 3）																														
12	時事（科学 4）																														
13	時事（科学 5）																														
14	時事（国際問題 1）																														
15	時事（国際問題 2）																														
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅴ 知能系科目総合
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択F
授業方法	演習
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	問題演習を通じて数的推理・判断推理の総復習を行い、加えて国語力を養う
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理・判断推理・国語分野の基礎知識を定着させる
教科書	模擬試験・オリジナルテキスト・配布プリント
特記	
授業計画	1 実力試験1 2 数的推理の基礎知識の復習（方程式） 3 数的推理の基礎知識の復習（不等式） 4 数的推理の基礎知識の復習（整数） 5 数的推理の基礎知識の復習（整数） 6 数的推理の基礎知識の復習（計算パズル） 7 数的推理の基礎知識の復習（比） 8 数的推理の基礎知識の復習（速さ） 9 数的推理の基礎知識の復習（速さ） 10 数的推理の基礎知識の復習（仕事算） 11 数的推理の基礎知識の復習（場合の数） 12 数的推理の基礎知識の復習（確率） 13 模擬試験1 14 判断推理の基礎知識の復習（論理） 15 判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数） 16 判断推理の基礎知識の復習（順序） 17 判断推理の基礎知識の復習（対応） 18 判断推理の基礎知識の復習（位置と方位） 19 判断推理の基礎知識の復習（位置と方位） 20 判断推理の基礎知識の復習（勝ち負け） 21 判断推理の基礎知識の復習（カード・ゲーム） 22 判断推理の基礎知識の復習（推理・手順） 23 判断推理の基礎知識の復習（暗号・家系図） 24 実力試験2 25 模擬試験2 26-29 文章理解・国語・作文総合演習 30 模擬試験3
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点および課題提出状況を総合的に評価 ※但し、実力試験の得点は成績評価に影響しない
備考	各種試験の実施コマつき、授業計画と変更になることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	トレーニング実習																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択F																														
授業方法	実習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ1 2 0 分）																														
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う																														
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後持久系トレーニング・筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う																														
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。																														
教科書	なし																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>公安職種の体力試験に関する研究</td></tr> <tr><td>2</td><td>筋力トレーニング・ストレッチ運動</td></tr> <tr><td>3</td><td>持久系トレーニング①</td></tr> <tr><td>4</td><td>筋力トレーニング①</td></tr> <tr><td>5</td><td>持久系トレーニング②</td></tr> <tr><td>6</td><td>持久系トレーニング③</td></tr> <tr><td>7</td><td>筋力トレーニング②</td></tr> <tr><td>8</td><td>持久系トレーニング④</td></tr> <tr><td>9</td><td>持久系トレーニング⑤</td></tr> <tr><td>10</td><td>筋力トレーニング③</td></tr> <tr><td>11</td><td>持久系トレーニング⑥</td></tr> <tr><td>12</td><td>持久系トレーニング⑦</td></tr> <tr><td>13</td><td>筋力トレーニング④</td></tr> <tr><td>14</td><td>持久系トレーニング⑧</td></tr> <tr><td>15</td><td>体力測定</td></tr> </table>	1	公安職種の体力試験に関する研究	2	筋力トレーニング・ストレッチ運動	3	持久系トレーニング①	4	筋力トレーニング①	5	持久系トレーニング②	6	持久系トレーニング③	7	筋力トレーニング②	8	持久系トレーニング④	9	持久系トレーニング⑤	10	筋力トレーニング③	11	持久系トレーニング⑥	12	持久系トレーニング⑦	13	筋力トレーニング④	14	持久系トレーニング⑧	15	体力測定
1	公安職種の体力試験に関する研究																														
2	筋力トレーニング・ストレッチ運動																														
3	持久系トレーニング①																														
4	筋力トレーニング①																														
5	持久系トレーニング②																														
6	持久系トレーニング③																														
7	筋力トレーニング②																														
8	持久系トレーニング④																														
9	持久系トレーニング⑤																														
10	筋力トレーニング③																														
11	持久系トレーニング⑥																														
12	持久系トレーニング⑦																														
13	筋力トレーニング④																														
14	持久系トレーニング⑧																														
15	体力測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、出席状況、実技による効果測定によって評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	憲法
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択F
授業方法	講義
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 憲法総論 2 基本的人権総論 3 包括的基本権 4 法の下での平等 5 思想良心の自由、信教の自由 6 信教の自由、表現の自由 7 表現の自由 8 表現の自由、学問の自由 9 職業選択の自由 10 財産権 11 人身の自由、社会権 12 社会権、参政権、受益権 13 国会 14 内閣、裁判所 15 裁判所 16 財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義 17 総合演習 1 18 総合演習 2 19 総合演習 3 20 総合演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択F
授業方法	講義
授業時間	68時間
授業コマ数	34コマ
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 権利能力、意思能力と行為能力 2 無効・取消し 3 意思の不存在、瑕疵ある意思表示 4 代理権 5 代理行為、無権代理 6 無権代理と相続、表見代理 7 時効総説、時効の完成猶予・更新 8 取得時効、消滅時効、物権の効力 9 物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義） 10 物権変動と登記の要否 11 即時取得制度、占有の効力 12 共有、地役権 13 担保物権総論、留置権 14 抵当権 15 復代理、質権 16 法定地上権、譲渡担保 17 債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償 18 債権者代位権 19 詐害行為取消権（債権者取消権） 20 連帯債務、保証債務 21 債権譲渡 22 弁済、相殺 23 契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除 24 売買（1） 25 売買（2） 26 賃貸借 27 不当利得 28 不法行為 29 婚姻、親子関係 30 相続、遺留分 31 弁済の提供、受領遅滞、解除の効果 32 贈与、請負、委任
成績評価方法 （試験実施方法）	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政法
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択F
授業方法	講義
授業時間	3 8 時間
授業コマ数	1 9 コマ
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 行政法の一般的な法理論 2 行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類 3 行政行為の効力・瑕疵 4 行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅 5 行政行為の附款、行政強制 6 行政罰、行政調査 7 行政契約、行政計画、行政指導 8 行政立法、行政手続法 9 行政手続法、手続の瑕疵 10 行政機関情報公開法 11 行政救済法一般、行政不服審査法 12 行政不服審査法 13 行政事件訴訟法(取消訴訟) 14 行政事件訴訟法(取消訴訟) 15 行政事件訴訟法(その他抗告訴訟) 16 国家賠償法 17 国家賠償法、損失補償、国家補償の谷間の問題 18 行政組織法、地方自治法 19 地方自治法、総合演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																								
授業科目	基礎人文科学 I 地理																								
実務家教員																									
学部・学科	法律行政科 2 年制																								
履修年次	1 年次																								
開講学期	後期																								
科目区分	選択G																								
授業方法	講義																								
授業時間	2 4 時間																								
授業コマ数	1 2 コマ																								
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ																								
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																								
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する																								
教科書	デジタルテキスト																								
特記																									
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>世界の地形（山地と平野）</td></tr> <tr><td>2</td><td>世界の地形（様々な地形）</td></tr> <tr><td>3</td><td>世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯）</td></tr> <tr><td>4</td><td>世界の気候（温帯）</td></tr> <tr><td>5</td><td>世界の農業（アジア、ヨーロッパ）</td></tr> <tr><td>6</td><td>世界の農業（アメリカ、オセアニア）</td></tr> <tr><td>7</td><td>世界の資源</td></tr> <tr><td>8</td><td>世界の工業</td></tr> <tr><td>9</td><td>世界地誌（アジア、アフリカ）</td></tr> <tr><td>10</td><td>世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア）</td></tr> <tr><td>11</td><td>生活と地域</td></tr> <tr><td>12</td><td>日本地誌</td></tr> </table>	1	世界の地形（山地と平野）	2	世界の地形（様々な地形）	3	世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯）	4	世界の気候（温帯）	5	世界の農業（アジア、ヨーロッパ）	6	世界の農業（アメリカ、オセアニア）	7	世界の資源	8	世界の工業	9	世界地誌（アジア、アフリカ）	10	世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア）	11	生活と地域	12	日本地誌
1	世界の地形（山地と平野）																								
2	世界の地形（様々な地形）																								
3	世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯）																								
4	世界の気候（温帯）																								
5	世界の農業（アジア、ヨーロッパ）																								
6	世界の農業（アメリカ、オセアニア）																								
7	世界の資源																								
8	世界の工業																								
9	世界地誌（アジア、アフリカ）																								
10	世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア）																								
11	生活と地域																								
12	日本地誌																								
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																								
備考																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅱ 日本史
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	講義
授業時間	2 8 時間
授業コマ数	1 4 コマ
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 大和政権と大化の改新 2 平安時代 3 平安時代の文化 4 鎌倉時代 5 室町時代 6 鎌倉時代と室町時代の文化 7 封建社会の確立 8 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革） 9 江戸時代（幕末） 10 明治維新 11 立憲体制の確立 12 近代文化の発展 13 大正時代 14 昭和時代
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅲ 東洋史・近代史	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	中国・朝鮮半島の歴代王朝と第二次世界大戦以降の世界史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な近隣国および近代歴史の基礎知識を習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	殷、周、秦、漢
	2	魏晉南北朝、隋、唐
	3	宋、元
	4	明、清
	5	清の崩壊
	6	ヴェルサイユ体制
	7	第二次世界大戦
	8	第二次世界大戦後の世界
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅴ 倫理・文学・芸術	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論
	2	功利主義、プラグマティズム、実存主義
	3	日本の思想家、諸子百家
	4	西洋美術
	5	西洋文学
	6	西洋音楽、西洋建築
	7	江戸時代までの日本文学
	8	明治時代以降の日本文学
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅱ 地学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	地球の姿と動く大地
	2	地震
	3	岩石
	4	大気と海洋
	5	気象現象、日本の四季
	6	太陽系と宇宙の構造
	7	太陽系と惑星
	8	恒星の世界
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅲ 物理	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを知る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力 1
	3	力 2、運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動
	7	電気
	8	電気と磁気、原子
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	基礎自然科学Ⅳ 化学																
実務家教員																	
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	1 年次																
開講学期	後期																
科目区分	選択G																
授業方法	講義																
授業時間	1 6 時間																
授業コマ数	8 コマ																
授業概要	物質の仕組みや物質の変化を知識として深める																
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習																
達成目標	化学理論の理解と化学各論（無機化合物）についての知識を深める																
教科書	デジタルテキスト																
特記																	
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>物質の構造 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>物質の構造 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>物質の状態</td></tr> <tr><td>4</td><td>物質の変化 1</td></tr> <tr><td>5</td><td>物質の変化 2</td></tr> <tr><td>6</td><td>物質の変化 3・有機化合物</td></tr> <tr><td>7</td><td>無機化合物 1</td></tr> <tr><td>8</td><td>無機化合物 2</td></tr> </table>	1	物質の構造 1	2	物質の構造 2	3	物質の状態	4	物質の変化 1	5	物質の変化 2	6	物質の変化 3・有機化合物	7	無機化合物 1	8	無機化合物 2
1	物質の構造 1																
2	物質の構造 2																
3	物質の状態																
4	物質の変化 1																
5	物質の変化 2																
6	物質の変化 3・有機化合物																
7	無機化合物 1																
8	無機化合物 2																
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員 基礎情報工学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	情報処理に活用することを前提とした数学知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ハードウェア I
	2	基礎理論
	3	ハードウェア II
	4	ソフトウェア
	5	アルゴリズム
	6	データベース
	7	ネットワーク
	8	セキュリティ
	9	システム構成要素
	10	マルチメディア
	11	システム開発
	12	マネジメント
	13	ストラテジ
	14	問題演習・解説
	15	問題演習・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員 IT基礎知識	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	デジタル枠での採用試験への対応を前提としたIT知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	システム戦略、システム開発技術
	2	ソフトウェア開発管理技術
	3	プロジェクトマネジメント
	4	システム監査
	5	基礎理論
	6	アルゴリズムとプログラミング
	7	コンピュータ構成要素
	8	システム構成要素
	9	ソフトウェア
	10	ハードウェア
	11	ヒューマンインターフェース
	12	マルチメディア
	13	データベース
	14	ネットワーク
	15	セキュリティ
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅰ 数的処理
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	40 時間
授業コマ数	20 コマ
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 方程式、不等式 2 整数、計算パズル 1 3 整数、計算パズル 2、割合と比 1 4 割合と比 2、速さ 5 速さ、仕事算、場合の数 1 6 場合の数 2、確率 7 科目試験 1 8 論理、集合と要素の個数 9 順序 10 対応 11 位置と方位、勝ち負け 12 勝ち負け、カード、ウソの発言 13 推理・手順、暗号 14 科目試験 2 15 折り紙、回転の軌跡、正多面体、展開図 16 平面図形の構成、サイコロ 17 見取り図と投影図、積木、立体の切断、回転体、一筆書き 18 平面図形の計量 1 19 平面図形の計量 2、立体図形の計量 20 科目試験 3
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	科目試験 1・科目試験 2 の実施コマつき、授業計画と変更になることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	基礎演習Ⅲ 人文科学																
実務家教員																	
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	2 年次																
開講学期	前期																
科目区分	選択G																
授業方法	演習																
授業時間	1 6 時間																
授業コマ数	8 コマ																
授業概要	歴史・地理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る																
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う																
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる																
教科書	スタンダード問題集																
特記																	
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>日本史（原始・古代・中世Ⅰ）</td></tr> <tr><td>2</td><td>日本史（中世Ⅱ・近世）</td></tr> <tr><td>3</td><td>日本史（近代以降）</td></tr> <tr><td>4</td><td>科目試験 1・地理（気候）</td></tr> <tr><td>5</td><td>地理（自然環境と地図）</td></tr> <tr><td>6</td><td>地理（資源と産業・生活と地域）</td></tr> <tr><td>7</td><td>地理（世界地誌）</td></tr> <tr><td>8</td><td>科目試験 2</td></tr> </table>	1	日本史（原始・古代・中世Ⅰ）	2	日本史（中世Ⅱ・近世）	3	日本史（近代以降）	4	科目試験 1・地理（気候）	5	地理（自然環境と地図）	6	地理（資源と産業・生活と地域）	7	地理（世界地誌）	8	科目試験 2
1	日本史（原始・古代・中世Ⅰ）																
2	日本史（中世Ⅱ・近世）																
3	日本史（近代以降）																
4	科目試験 1・地理（気候）																
5	地理（自然環境と地図）																
6	地理（資源と産業・生活と地域）																
7	地理（世界地誌）																
8	科目試験 2																
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅵ 知識系科目総合
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	問題演習を通じて知識系科目全体の総復習を行う
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	公務に必要な一般教養の幅広い知識を定着させる
教科書	デジタルテキスト・問題集・模擬試験等
特記	
授業計画	1 政治の基礎知識の復習（国家と政治制度） 2 政治の基礎知識の復習（基本的人権） 3 政治の基礎知識の復習（基本的人権） 4 政治の基礎知識の復習（統治機構） 5 政治の基礎知識の復習（地方自治） 6 政治の基礎知識の復習（選挙制度） 7 模擬試験1 8 経済の基礎知識の復習（現代の企業と市場） 9 経済の基礎知識の復習（国民所得） 10 経済の基礎知識の復習（金融政策・財政政策） 11 経済の基礎知識の復習（日本経済の動向） 12 経済の基礎知識の復習（貿易と外国為替） 13 経済の基礎知識の復習（国際経済の動向） 14 経済の基礎知識の復習（国際経済の動向） 15 社会の基礎知識の復習（社会理論） 16 社会の基礎知識の復習（労働問題と環境問題） 17 模擬試験2 18 実力試験 19-22 社会科学分野総復習 23-26 人文科学分野総復習1 27-29 自然科学分野総復習1 30 模擬試験3
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点および課題提出状況を総合的に評価 ※但し、実力試験の得点は成績評価に影響しない
備考	各講義内容の習熟度を鑑み、講義範囲を変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																												
授業科目	応用演習Ⅱ 社会科学																												
実務家教員																													
学部・学科	法律行政科 2 年制																												
履修年次	1 年次																												
開講学期	通年																												
科目区分	選択G																												
授業方法	演習																												
授業時間	2 8 時間																												
授業コマ数	1 4 コマ																												
授業概要	問題演習を通じ、政治・経済の応用知識を学ぶ																												
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う																												
達成目標	社会科学分野に関するより幅広い知識を習得する																												
教科書	実戦問題集、デジタルテキスト																												
特記																													
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>政治の基本理念、政治制度論</td></tr> <tr><td>2</td><td>基本的人権①</td></tr> <tr><td>3</td><td>基本的人権②</td></tr> <tr><td>4</td><td>国会の機構と運営</td></tr> <tr><td>5</td><td>内閣の機構と運営</td></tr> <tr><td>6</td><td>地方自治、選挙制度</td></tr> <tr><td>7</td><td>現代の企業、現代の市場</td></tr> <tr><td>8</td><td>国民所得</td></tr> <tr><td>9</td><td>通貨制度と金融政策</td></tr> <tr><td>10</td><td>財政制度と財政政策</td></tr> <tr><td>11</td><td>貿易と外国為替</td></tr> <tr><td>12</td><td>国際経済の動向</td></tr> <tr><td>13</td><td>社会総合①</td></tr> <tr><td>14</td><td>社会総合②</td></tr> </table>	1	政治の基本理念、政治制度論	2	基本的人権①	3	基本的人権②	4	国会の機構と運営	5	内閣の機構と運営	6	地方自治、選挙制度	7	現代の企業、現代の市場	8	国民所得	9	通貨制度と金融政策	10	財政制度と財政政策	11	貿易と外国為替	12	国際経済の動向	13	社会総合①	14	社会総合②
1	政治の基本理念、政治制度論																												
2	基本的人権①																												
3	基本的人権②																												
4	国会の機構と運営																												
5	内閣の機構と運営																												
6	地方自治、選挙制度																												
7	現代の企業、現代の市場																												
8	国民所得																												
9	通貨制度と金融政策																												
10	財政制度と財政政策																												
11	貿易と外国為替																												
12	国際経済の動向																												
13	社会総合①																												
14	社会総合②																												
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価																												
備考																													

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	基礎答案練習																
実務家教員																	
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	1 年次																
開講学期	後期																
科目区分	選択G																
授業方法	演習																
授業時間	1 6 時間																
授業コマ数	8 コマ																
授業概要	本試験形式の 1 次試験から 2 次試験までを体験する																
授業の進め方	教養模擬試験および作文・適性・面接試験を実施する																
達成目標	第6講目の模擬試験で合格ラインに達する																
教科書	模擬試験																
特記																	
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 1 の解説・復習</td></tr> <tr><td>3</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 2</td></tr> <tr><td>4</td><td>基礎的なレベルの模擬試験 2 の解説・復習</td></tr> <tr><td>5</td><td>模擬受験（受験申込書作成）</td></tr> <tr><td>6</td><td>模擬受験（教養試験）</td></tr> <tr><td>7</td><td>模擬受験（作文/ES・適性試験）</td></tr> <tr><td>8</td><td>模擬受験（面接試験）</td></tr> </table>	1	基礎的なレベルの模擬試験 1	2	基礎的なレベルの模擬試験 1 の解説・復習	3	基礎的なレベルの模擬試験 2	4	基礎的なレベルの模擬試験 2 の解説・復習	5	模擬受験（受験申込書作成）	6	模擬受験（教養試験）	7	模擬受験（作文/ES・適性試験）	8	模擬受験（面接試験）
1	基礎的なレベルの模擬試験 1																
2	基礎的なレベルの模擬試験 1 の解説・復習																
3	基礎的なレベルの模擬試験 2																
4	基礎的なレベルの模擬試験 2 の解説・復習																
5	模擬受験（受験申込書作成）																
6	模擬受験（教養試験）																
7	模擬受験（作文/ES・適性試験）																
8	模擬受験（面接試験）																
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験・模擬受験における得点で評価																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	政治学
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	講義
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	1 2 コマ
授業概要	政治学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な政治学の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 政治学の基礎概念、政治の概念、近代国家 2 国家論と政治体制 3 政治権力、政治的イデオロギー 4 現代社会と政治、エリート論と大衆社会論、リーダーシップ論 5 イデオロギーと政治意識、政治文化 6 マス・メディア、政治過程論、政党 7 選挙制度、投票行動 8 圧力団体、立法過程 9 政策過程 10 政治制度論、権力分立論、議院内閣制 11 大統領制、政治思想と政治理論、近代政治思想の誕生 12 社会契約説、保守主義、功利主義、行動論政治学、現代政治思想
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	ミクロ経済学
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	講義
授業時間	4 8 時間
授業コマ数	2 4 コマ
授業概要	ミクロ経済学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要なミクロ経済学の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 市場の働き① 2 市場の働き② 3 市場の働き③ 4 市場の働き④ 5 市場の働き⑤ 6 市場の働き⑥ 7 家計の行動① 8 家計の行動② 9 家計の行動③ 10 家計の行動④ 11 家計の行動⑤ 12 家計の行動⑥ 13 企業の行動① 14 企業の行動② 15 企業の行動③ 16 不完全競争市場① 17 不完全競争市場② 18 不完全競争市場③ 19 公共経済学① 20 公共経済学② 21 公共経済学③ 22 国際貿易① 23 国際貿易② 24 リスクの経済学とゲーム理論
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	マクロ経済学
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	講義
授業時間	3 6 時間
授業コマ数	1 8 コマ
授業概要	マクロ経済学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要なマクロ経済学の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 マクロ経済学の測定① 2 マクロ経済学の測定② 3 短期① 経済規模① 4 短期① 経済規模② 5 短期② 貨幣と利子率① 6 短期② 貨幣と利子率② 7 短期② 貨幣と利子率③ 8 短期③ 政策効果 9 短期④ 国際マクロ経済① 10 短期④ 国際マクロ経済② 11 短期④ 国際マクロ経済③ 12 長期① 消費と貯蓄・投資① 13 長期① 消費と貯蓄・投資② 14 長期② 経済成長① 15 長期② 経済成長② 16 長期③ 物価と失業率 17 長期④ 物価と資産 18 マクロ経済政策
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 8 時間	
授業コマ数	9 コマ	
授業概要	社会学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会学の基礎知識を習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会学史
	2	社会学史、社会学の基礎概念
	3	社会学の基礎概念
	4	社会集団、地域社会
	5	経営と労働
	6	社会学の現代的課題
	7	社会調査
	8	総まとめ1
	9	総まとめ2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	会計学
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	講義
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分
授業概要	会計学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な会計学の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の目的、取引・仕訳・勘定・試算表、等 2 株式会社の資本、決算 3 企業会計の基礎、一般原則、損益会計 4 資産会計 5 負債会計、純資産、財務諸表 6 財表分析、連結財務諸表、為替換算会計、税効果会計、企業結合会計 7 会計学問題演習 8 会計学問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会事情	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	社会事情の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会事情の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	教育、文化、科学、情報
	2	警察、消防、環境、防災
	3	食料農業、観光、交通
	4	労働、経済
	5	国際組織、国際会議
	6	世界情勢、各国動向
	7	社会事情問題演習
	8	社会事情問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済事情	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ6 0 分	
授業概要	経済事情の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済事情の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	日本経済事情①
	2	日本経済事情②
	3	日本経済事情③
	4	日本経済事情④
	5	世界経済事情①
	6	世界経済事情②
	7	経済事情問題演習
	8	経済事情問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国際関係	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	国際関係の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な国際関係の基礎知識を習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	国際関係理論
	2	国際機関1
	3	国際機関2
	4	戦後国際政治史
	5	各地域の政治情勢と紛争、国際経済
	6	地域機構、日本外交史
	7	国際関係問題演習
	8	国際関係問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	経営学																
実務家教員																	
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	1 年次																
開講学期	後期																
科目区分	選択G																
授業方法	講義																
授業時間	1 5 時間																
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分																
授業概要	経営学の基礎知識を学ぶ																
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																
達成目標	公務に必要な経営学の基礎知識を習得する																
教科書	デジタルテキスト																
特記																	
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>伝統的管理論、人間関係論</td></tr> <tr><td>2</td><td>モチベーション論、近代組織論</td></tr> <tr><td>3</td><td>現代企業論、経営組織論</td></tr> <tr><td>4</td><td>経営戦略論</td></tr> <tr><td>5</td><td>日本的経営、生産管理・品質管理</td></tr> <tr><td>6</td><td>イノベーション論・製品開発論、マーケティング、企業財務論</td></tr> <tr><td>7</td><td>経営学問題演習</td></tr> <tr><td>8</td><td>経営学問題演習</td></tr> </table>	1	伝統的管理論、人間関係論	2	モチベーション論、近代組織論	3	現代企業論、経営組織論	4	経営戦略論	5	日本的経営、生産管理・品質管理	6	イノベーション論・製品開発論、マーケティング、企業財務論	7	経営学問題演習	8	経営学問題演習
1	伝統的管理論、人間関係論																
2	モチベーション論、近代組織論																
3	現代企業論、経営組織論																
4	経営戦略論																
5	日本的経営、生産管理・品質管理																
6	イノベーション論・製品開発論、マーケティング、企業財務論																
7	経営学問題演習																
8	経営学問題演習																
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	教育学																
実務家教員																	
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	1 年次																
開講学期	後期																
科目区分	選択G																
授業方法	講義																
授業時間	1 5 時間																
授業コマ数	8 コマ ※ 8 コマ目のみ 6 0 分																
授業概要	教育学の基礎知識を学ぶ																
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																
達成目標	公務に必要な教育学の基礎知識を習得する																
教科書	オリジナルテキスト																
特記																	
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>教育の意義と目的</td></tr> <tr><td>2</td><td>教育の思想と歴史</td></tr> <tr><td>3</td><td>教育の制度</td></tr> <tr><td>4</td><td>教育の実践と展開</td></tr> <tr><td>5</td><td>諸外国の教育制度と実践</td></tr> <tr><td>6</td><td>生涯学習社会における教育の課題</td></tr> <tr><td>7</td><td>教育学問題演習</td></tr> <tr><td>8</td><td>教育学問題演習</td></tr> </table>	1	教育の意義と目的	2	教育の思想と歴史	3	教育の制度	4	教育の実践と展開	5	諸外国の教育制度と実践	6	生涯学習社会における教育の課題	7	教育学問題演習	8	教育学問題演習
1	教育の意義と目的																
2	教育の思想と歴史																
3	教育の制度																
4	教育の実践と展開																
5	諸外国の教育制度と実践																
6	生涯学習社会における教育の課題																
7	教育学問題演習																
8	教育学問題演習																
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価																
備考																	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	心理学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	心理学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な心理学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	心理学とは、性格、感情
	2	欲求と動機づけ、感覚・知覚・認知
	3	学習と記憶、知能・創造性・思考
	4	人間環境と集団、対人交流とコミュニケーション
	5	発達概念、適応とストレス
	6	面接・見立て・心理療法、脳と心
	7	心理学問題演習
	8	心理学問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	商法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※ 8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	商法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な商法の基礎知識を習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	株式会社の設立
	2	株式会社の設立
	3	株式
	4	機関
	5	機関
	6	株式会社の資金調達
	7	商法問題演習
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	上級専門科目 専門科目総合演習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科２年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ（１コマ１２０分）
授業概要	専門科目全般の問題演習による総合力の強化
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	専門試験で合格点を上回る知識の定着
教科書	科目別答案練習、デジタルテキスト、実戦問題集
特記	
授業計画	１ 専門科目総合演習 １ ２ 専門科目総合演習 ２ ３ 専門科目総合演習 ３ ４ 専門科目総合演習 ４ ５ 専門科目総合演習 ５ ６ 専門科目総合演習 ６ ７ 専門科目総合演習 ７ ８ 専門科目総合演習 ８ ９ 専門科目総合演習 ９ １０ 専門科目総合演習 １０ １１ 専門科目総合演習 １１ １２ 専門科目総合演習 １２ １３ 専門科目総合演習 １３ １４ 専門科目総合演習 １４ １５ 専門科目総合演習 １５ １６ 専門科目総合演習 １６ １７ 専門科目総合演習 １７ １８ 専門科目総合演習 １８ １９ 専門科目総合演習 １９ ２０ 専門科目総合演習 ２０ ２１ 専門科目総合演習 ２１ ２２ 専門科目総合演習 ２２ ２３ 専門科目総合演習 ２３ ２４ 専門科目総合演習 ２４ ２５ 専門科目総合演習 ２５ ２６ 専門科目総合演習 ２６ ２７ 専門科目総合演習 ２７ ２８ 専門科目総合演習 ２８ ２９ 専門科目総合演習 ２９ ３０ 専門科目総合演習 ３０
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験得点を中心に取り組み姿勢等を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員就職試験対策講義
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	テキスト
特記	
授業計画	1 適性検査パターン 1、パターン 2 の解答方法及び練習 2 適性検査パターン 3、パターン 4 の解答方法及び練習 3 適性検査パターン 5、パターン 6 の解答方法及び練習 4 適性検査練習 1 5 適性検査練習 2 6 適性検査練習 3 7 適性検査練習 4 8 適性検査練習 5 9 適性検査練習 6 10 適性検査練習 7 11 適性検査練習 8 12 適性検査練習 9 13 適性検査練習 1 0 14 適性検査練習 1 1 15 適性検査練習 1 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン基礎
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	9 0 時間
授業コマ数	4 5 コマ
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 公務員全般ガイダンス 2 公務員職種別ガイダンス 3 面接の基本 4 公務員試験研究 5 入退室の仕方、身嗜みチェック 6 面接効果測定1（初級効果測定） 7 自己分析 8 面接質問項目（想定質問） 9 自己PR作成 10 受験先研究 11 志望動機作成 12-13 集団討論対策 14 効果測定準備 15 面接効果測定2（中級効果測定） 16-23 職種別試験ガイダンス 24-25 官庁研究 26-27 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 28-30 模擬面接（試験種Ⅰ） 31-32 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 23-35 模擬面接（試験種Ⅱ） 36-37 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 38-40 模擬面接（試験種Ⅲ） 41-42 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅳ）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定および授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎人文科学Ⅳ 古代史・西洋史
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	講義
授業時間	1 8 時間
授業コマ数	9 コマ
授業概要	古代およびヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な西欧社会の歴史の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 四大文明、古代ギリシャ、古代ローマ 2 中世ヨーロッパ 3 ルネサンス、大航海時代、宗教改革 4 絶対主義 5 イギリス市民革命、アメリカ独立革命 6 フランス革命 7 ウィーン体制 8 19世紀のヨーロッパ 9 第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学総合	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	2 0 時間	
授業コマ数	1 0 コマ	
授業概要	物理・化学の基礎知識を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力
	3	運動方程式、エネルギー
	4	運動量、電気
	5	波動
	6	物質の構造 1
	7	物質の構造 2、物質の状態
	8	物質の変化 1
	9	物質の変化 2
	10	無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数学 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に着ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数と式
	2	数と式
	3	数と式
	4	方程式
	5	方程式
	6	関数
	7	式と図形・不等式と領域
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅱ 英語	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	1 5 時間	
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分	
授業概要	基礎的な英文法を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務で求められる基礎的な英語力を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	be動詞・動詞、熟語
	2	疑問文・感嘆文、熟語
	3	過去形・現在進行形、熟語
	4	現在完了・過去完了、熟語
	5	長文読解、英会話、熟語
	6	長文読解、英会話、熟語
	7	長文読解、英会話、熟語
	8	科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考	開講期は前期のみ、または後期のみ、または前期後期に跨る場合がある	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	基礎演習Ⅳ 自然科学
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	1 6 時間
授業コマ数	8 コマ
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる
教科書	スタンダード問題集
特記	
授業計画	1 生物（生体の構造、生体内の代謝） 2 生物（生殖と発生、遺伝と変異） 3 生物（刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調節） 4 生物（生物の集団、生物の進化と系統） 5 科目試験 1 ・地学（地球の姿と動く大地） 6 地学（岩石、地球と人類） 7 地学（大気と海洋、太陽系と宇宙の構造） 8 科目試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	応用演習 I 数的処理
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	1 2 コマ
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る
教科書	実戦問題集または模擬試験
特記	
授業計画	1 論理・集合の要素の個数 2 順序・対応 3 位置と方位・勝ち負け 4 カード・ゲーム・嘘の発言・推理・手順・暗号 5 折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図 6 平面図形の構成・サイコロ・見取り図と投影図・積木 7 立体の切断・回転体・一筆書き・平面図形の計量 1 8 平面図形の計量 2・立体図形の計量 9 方程式・不等式・整数・計算パズル 10 割合と比・速さ・仕事算 11 場合の数・確率 12 資料解釈・科目試験
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	各回の授業につき、順序を入替えすることがある また、模擬試験を用いた演習スタイルとする場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	応用演習Ⅲ 人文科学																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	選択G																														
授業方法	演習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	問題演習を通じ、地理・歴史の応用知識を学ぶ																														
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う																														
達成目標	人文科学分野に関するより幅広い知識を習得する																														
教科書	実戦問題集																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>平安時代</td></tr> <tr><td>2</td><td>鎌倉時代</td></tr> <tr><td>3</td><td>室町時代</td></tr> <tr><td>4</td><td>江戸時代</td></tr> <tr><td>5</td><td>明治時代</td></tr> <tr><td>6</td><td>大正時代、昭和時代</td></tr> <tr><td>7</td><td>科目試験 1</td></tr> <tr><td>8</td><td>世界の地形</td></tr> <tr><td>9</td><td>世界の気候</td></tr> <tr><td>10</td><td>世界の農業</td></tr> <tr><td>11</td><td>世界の資源・工業</td></tr> <tr><td>12</td><td>日本地誌</td></tr> <tr><td>13</td><td>世界地誌（アジア、アフリカ）</td></tr> <tr><td>14</td><td>世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）</td></tr> <tr><td>15</td><td>科目試験 2</td></tr> </table>	1	平安時代	2	鎌倉時代	3	室町時代	4	江戸時代	5	明治時代	6	大正時代、昭和時代	7	科目試験 1	8	世界の地形	9	世界の気候	10	世界の農業	11	世界の資源・工業	12	日本地誌	13	世界地誌（アジア、アフリカ）	14	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）	15	科目試験 2
1	平安時代																														
2	鎌倉時代																														
3	室町時代																														
4	江戸時代																														
5	明治時代																														
6	大正時代、昭和時代																														
7	科目試験 1																														
8	世界の地形																														
9	世界の気候																														
10	世界の農業																														
11	世界の資源・工業																														
12	日本地誌																														
13	世界地誌（アジア、アフリカ）																														
14	世界地誌（ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア）																														
15	科目試験 2																														
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																														
備考	各回の授業につき、順序を入替えすることがある																														

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択G	
授業方法	演習	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ	
授業概要	問題演習を通じ、物理・化学の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	自然科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	物理（運動の表現）
	2	物理（力）
	3	物理（エネルギー、運動量、熱）
	4	物理（波動、電気、電気と磁気、原子）
	5	化学（物質の構造）
	6	化学（物質の状態）
	7	化学（物質の変化）
	8	化学（無機化合物、生活と環境の化学）
成績評価方法 （試験実施方法）	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																								
授業科目	応用演習Ⅴ 数的処理本試験対策																								
実務家教員																									
学部・学科	法律行政科 2 年制																								
履修年次	2 年次																								
開講学期	前期																								
科目区分	選択G																								
授業方法	演習																								
授業時間	2 4 時間																								
授業コマ数	1 2 コマ																								
授業概要	数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化																								
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う																								
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る																								
教科書	実戦問題集																								
特記																									
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 3</td></tr> <tr><td>4</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 4</td></tr> <tr><td>5</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 5</td></tr> <tr><td>6</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 6</td></tr> <tr><td>7</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 7</td></tr> <tr><td>8</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 8</td></tr> <tr><td>9</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 9</td></tr> <tr><td>10</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 0</td></tr> <tr><td>11</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 1</td></tr> <tr><td>12</td><td>数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 2</td></tr> </table>	1	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1	2	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 2	3	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 3	4	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 4	5	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 5	6	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 6	7	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 7	8	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 8	9	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 9	10	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 0	11	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 1	12	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 2
1	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1																								
2	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 2																								
3	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 3																								
4	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 4																								
5	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 5																								
6	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 6																								
7	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 7																								
8	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 8																								
9	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 9																								
10	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 0																								
11	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 1																								
12	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 2																								
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価																								
備考																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	8 4 時間
授業コマ数	4 2 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	基礎的な内容から一部応用レベルを含む模擬試験で半数以上を正解する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 各職種総合タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 3・4 各職種総合タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 5・6 各職種総合タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 7・8 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 9・10 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 11・12 各職種総合タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 13・14 各職種総合タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 15・16 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 17・18 警察官タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説 19・20 各職種総合タイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説 21・22 各職種総合タイプの模擬試験 7 ・当該模擬試験の解説 23・24 各職種総合タイプの模擬試験 8 ・当該模擬試験の解説 25・26 各職種総合タイプの模擬試験 9 ・当該模擬試験の解説 27・28 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 29・30 海上保安学校タイプの模擬試験 ・当該模擬試験の解説 31・32 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 33・34 一部応用レベルを含むタイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説 35・36 自衛官タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 37・38 自衛官タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 39・40 各職種総合タイプの模擬試験 1 0 ・当該模擬試験の解説 41・42 各職種総合タイプの模擬試験 1 1 ・当該模擬試験の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験の順序・タイプは変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	総合答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	4 8 時間
授業コマ数	2 4 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	基礎レベルから一部応用問題を含む模擬試験において全問題の7割以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 3・4 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 5・6 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 7・8 地方公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 9・10 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 11・12 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 13・14 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 15・16 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 17・18 実戦的なタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 19・20 選択式（地方公務員 2 タイプ・裁判所）模擬試験・当該模擬試験の解説 21・22 実戦的なタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 23・24 地方公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習 I
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	1 0 8 時間
授業コマ数	5 4 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 実戦的なタイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 3・4 実戦的なタイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 5・6 実戦的なタイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 7・8 実戦的なタイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 9・10 実戦的なタイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 11・12 実戦的なタイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説 13・14 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 15・16 実戦的なタイプの模擬試験 7 ・当該模擬試験の解説 17・18 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 19・20 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 21・22 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 23・24 地方公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 25・26 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 27・28 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 29・30 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 31・32 国家公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 33・34 消防官（中級レベル）タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 35・36 消防官（初級レベル）タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 37・38 地方公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 39・40 実戦的なタイプの模擬試験 8 ・当該模擬試験の解説 41・42 警察官タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 43・44 選択式（地方公務員 2 タイプ・裁判所）模擬試験・当該模擬試験の解説 45・46 刑務官タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 47・48 実戦的なタイプの模擬試験 9 ・当該模擬試験の解説 49・50 警察官タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 51・52 実戦的なタイプの模擬試験 1 0 ・当該模擬試験の解説 53・54 地方公務員タイプの模擬試験 6 ・当該模擬試験の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	1 0 2 時間
授業コマ数	5 1 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 地方公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 3・4 地方公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 5・6 地方公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 7・8 選択式（地方公務員 2 タイプ・警察官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 9・10 国家公務員タイプの模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 11・12 国家公務員タイプの模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 13・14 国家公務員タイプの模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 15・16 国家公務員タイプの模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 17・18 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 19・20 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 21・22 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 23・24 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 25・26 選択式（国家公務員・消防官）模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 27・28 国家公務員タイプの模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 29・30 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 31・32 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 33・34 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 35・36 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 4 ・当該模擬試験の解説 37・38 選択式（地方公務員・裁判所・消防官）模擬試験 5 ・当該模擬試験の解説 39・40 選択式（地方公務員 2 タイプ・警察官・自衛官）模擬試験・当該模擬試験の解説 41・42 選択式（地方公務員 2 タイプ・警察官）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 43・44 選択式（地方公務員 2 タイプ・警察官）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説 45・46 選択式（地方公務員 2 タイプ・刑務官）模擬試験・当該模擬試験の解説 47・48 地方公務員タイプの模擬試験・当該模擬試験の解説 49・50 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 1 ・当該模擬試験の解説 51・52 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 2 ・当該模擬試験の解説 53・54 選択式（地方公務員・国家公安職）模擬試験 3 ・当該模擬試験の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	模擬試験のタイプ・順序は変更することがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	総合的なレベルの模擬試験で正答率6割以上を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 総合的なタイプの模擬試験 1 2 模擬試験 1 の解説 3 総合的なレベルの模擬試験 2 4 模擬試験 2 の解説 5 総合的なレベルの模擬試験 3 6 模擬試験 3 の解説 7 総合的なレベルの模擬試験 4 8 模擬試験 4 の解説 9 総合的なレベルの模擬試験 5 10 模擬試験 5 の解説 11 総合的なレベルの模擬試験 6 12 模擬試験 6 の解説 13 総合的なレベルの模擬試験 7 14 模擬試験 7 の解説 15 総合的なレベルの模擬試験 8
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点ならびに課題で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政学
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	講義
授業時間	2 4 時間
授業コマ数	1 2 コマ
授業概要	行政学の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政学の基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 行政国家と福祉国家、官房学とシュタイン行政学 2 アメリカ行政学形成の背景、政治行政二分論、正統派行政学への批判 3 科学的管理法と古典的組織理論、人間関係論、現代組織理論 4 日本の行政組織 5 日本の行政組織の作動様式、行政改革 6 官僚制論 7 公務員制度 8 政策過程概要、政策形成、政策決定 9 政策評価、予算・決算制度 10 行政責任・行政統制、オンブズマン制度 11 行政と情報管理、中央地方関係 12 日本の地方自治制度の歴史、日本の地方自治制度、地方自治の諸問題
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財政学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択G	
授業方法	講義	
授業時間	2 4 時間	
授業コマ数	1 2 コマ	
授業概要	財政学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な財政学の基礎知識を習得する	
教科書	デジタルテキスト	
特記		
授業計画	1	財政の基礎
	2	財政の基礎
	3	財政制度①
	4	財政制度②
	5	租税
	6	租税
	7	公債
	8	公債
	9	日本財政史
	10	地方財政
	11	地方財政
	12	財政事情の国際比較
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	上級答案練習Ⅰ 専門科目
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 専門模擬試験 1 3・4 専門模擬試験 2 5・6 専門模擬試験 3 7・8 専門模擬試験 4 9・10 専門模擬試験 5 11・12 専門模擬試験 6 13・14 専門模擬試験 7 15・16 専門模擬試験 8 17・18 専門模擬試験 9 19・20 専門模擬試験 1 0 21・22 専門模擬試験 1 1 23・24 専門模擬試験 1 2 25・26 専門模擬試験 1 3 27・28 専門模擬試験 1 4 29・30 専門模擬試験 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	2 コマで 1 回分の模擬試験を実施

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	上級答案練習Ⅱ 専門科目
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1・2 専門模擬試験 1 3・4 専門模擬試験 2 5・6 専門模擬試験 3 7・8 専門模擬試験 4 9・10 専門模擬試験 5 11・12 専門模擬試験 6 13・14 専門模擬試験 7 15・16 専門模擬試験 8 17・18 専門模擬試験 9 19・20 専門模擬試験 1 0 21・22 専門模擬試験 1 1 23・24 専門模擬試験 1 2 25・26 専門模擬試験 1 3 27・28 専門模擬試験 1 4 29・30 専門模擬試験 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	2 コマで 1 回分の模擬試験を実施

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅲ 教養科目	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択G	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	教養模擬試験 1
	2	教養模擬試験 2
	3	教養模擬試験 3
	4	教養模擬試験 4
	5	教養模擬試験 5
	6	教養模擬試験 6
	7	教養模擬試験 7
	8	教養模擬試験 8
	9	教養模擬試験 9
	10	教養模擬試験 1 0
	11	教養模擬試験 1 1
	12	教養模擬試験 1 2
	13	教養模擬試験 1 3
	14	教養模擬試験 1 4
	15	教養模擬試験 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	上級専門科目 上級答案練習Ⅳ 教養科目																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	前期																														
科目区分	選択G																														
授業方法	演習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）																														
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ																														
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う																														
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる																														
教科書	模擬試験																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>教養模擬試験 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>教養模擬試験 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>教養模擬試験 3</td></tr> <tr><td>4</td><td>教養模擬試験 4</td></tr> <tr><td>5</td><td>教養模擬試験 5</td></tr> <tr><td>6</td><td>教養模擬試験 6</td></tr> <tr><td>7</td><td>教養模擬試験 7</td></tr> <tr><td>8</td><td>教養模擬試験 8</td></tr> <tr><td>9</td><td>教養模擬試験 9</td></tr> <tr><td>10</td><td>教養模擬試験 1 0</td></tr> <tr><td>11</td><td>教養模擬試験 1 1</td></tr> <tr><td>12</td><td>教養模擬試験 1 2</td></tr> <tr><td>13</td><td>教養模擬試験 1 3</td></tr> <tr><td>14</td><td>教養模擬試験 1 4</td></tr> <tr><td>15</td><td>教養模擬試験 1 5</td></tr> </table>	1	教養模擬試験 1	2	教養模擬試験 2	3	教養模擬試験 3	4	教養模擬試験 4	5	教養模擬試験 5	6	教養模擬試験 6	7	教養模擬試験 7	8	教養模擬試験 8	9	教養模擬試験 9	10	教養模擬試験 1 0	11	教養模擬試験 1 1	12	教養模擬試験 1 2	13	教養模擬試験 1 3	14	教養模擬試験 1 4	15	教養模擬試験 1 5
1	教養模擬試験 1																														
2	教養模擬試験 2																														
3	教養模擬試験 3																														
4	教養模擬試験 4																														
5	教養模擬試験 5																														
6	教養模擬試験 6																														
7	教養模擬試験 7																														
8	教養模擬試験 8																														
9	教養模擬試験 9																														
10	教養模擬試験 1 0																														
11	教養模擬試験 1 1																														
12	教養模擬試験 1 2																														
13	教養模擬試験 1 3																														
14	教養模擬試験 1 4																														
15	教養模擬試験 1 5																														
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	上級答案練習Ⅴ 公安職対策
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	公安職タイプの模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する
達成目標	公安職タイプの模擬試験において問題の 6 割以上の正解を目標とする
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 総合的なタイプの模擬試験 1 2 総合的なタイプの模擬試験 2 3 総合的なタイプの模擬試験 3 4 総合的なタイプの模擬試験 4 5 警察官タイプの模擬試験 1 6 総合的なタイプの模擬試験 5 7 海上保安学校タイプの模擬試験 8 総合的なタイプの模擬試験 6 9 総合的なタイプの模擬試験 7 10 消防官タイプの模擬試験 1 11 消防官タイプの模擬試験 2 12 消防官タイプの模擬試験 3 13 警察官タイプの模擬試験 2 14 刑務官タイプの模擬試験 15 警察官タイプの模擬試験 3
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の順序・タイプは変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	専門科目総合演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	科目別答練の実施や既習科目の総復習を通じ、専門科目の知識の定着を図る
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	専門試験で合格点を上回る知識の定着
教科書	デジタルテキスト、科目別答案練習、実戦問題集
特記	
授業計画	1 専門科目総合演習 1 (法律系科目①) 2 専門科目総合演習 2 (経済系科目①) 3 専門科目総合演習 3 (行政系科目①) 4 専門科目総合演習 4 (法律系科目②) 5 専門科目総合演習 5 (経済系科目②) 6 専門科目総合演習 6 (行政系科目②) 7 専門科目総合演習 7 (法律系科目③) 8 専門科目総合演習 8 (経済系科目③) 9 専門科目総合演習 9 (行政系科目③) 10 専門科目総合演習 1 0 (法律系科目④) 11 専門科目総合演習 1 1 (経済系科目④) 12 専門科目総合演習 1 2 (行政系科目④) 13 専門科目総合演習 1 3 (専門全科目①) 14 専門科目総合演習 1 4 (専門全科目②) 15 専門科目総合演習 1 5 (専門全科目③)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験得点を中心に取り組み姿勢等を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択G	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	テキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習 1
	2	適性検査練習 2
	3	適性検査練習 3
	4	適性検査練習 4
	5	適性検査練習 5
	6	適性検査練習 6
	7	適性検査練習 7
	8	適性検査練習 8
	9	適性検査練習 9
	10	適性検査練習 1 0
	11	適性検査練習 1 1
	12	適性検査練習 1 2
	13	適性検査練習 1 3
	14	適性検査練習 1 4
	15	適性検査練習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	公務員時事研究		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	通年		
科目区分	選択G		
授業方法	演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する		
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる		
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける		
教科書	なし		
特記			
授業計画	1	情報収集と考察	テーマ 1
	2	情報収集と考察	テーマ 2
	3	情報収集と考察	テーマ 3
	4	情報収集と考察	テーマ 4
	5	情報収集と考察	テーマ 5
	6	情報収集と考察	テーマ 6
	7	情報収集と考察	テーマ 7
	8	情報収集と考察	テーマ 8
	9	情報収集と考察	テーマ 9
	10	情報収集と考察	テーマ 1 0
	11	情報収集と考察	テーマ 1 1
	12	情報収集と考察	テーマ 1 2
	13	情報収集と考察	テーマ 1 3
	14	情報収集と考察	テーマ 1 4
	15	情報収集と考察	テーマ 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容を評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員キャリアデザイン総合
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	1 2 0 時間
授業コマ数	6 0 コマ
授業概要	8 試験種に向けた面接指導を行う
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる
教科書	なし
特記	
授業計画	1-3 模擬面接準備（試験種Ⅰ） 4-6 模擬面接（試験種Ⅰ） 7-9 模擬面接準備（試験種Ⅱ） 10-12 模擬面接（試験種Ⅱ） 13-15 模擬面接準備（試験種Ⅲ） 16-18 模擬面接（試験種Ⅲ） 19-21 模擬面接準備（試験種Ⅳ） 22-24 模擬面接（試験種Ⅳ） 25-27 集団討論準備 28-30 集団討論 31-38 職種別試験ガイダンス 39-40 官庁研究 41-42 模擬面接準備（試験種Ⅴ） 43-45 模擬面接（試験種Ⅴ） 46-47 模擬面接準備（試験種Ⅵ） 48-50 模擬面接（試験種Ⅵ） 51-52 模擬面接準備（試験種Ⅶ） 53-55 模擬面接（試験種Ⅶ） 56-57 模擬面接準備（試験種Ⅷ） 58-60 模擬面接（試験種Ⅷ）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価
備考	授業実施順序は入替をすることがある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習 I
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	6 0 時間
授業コマ数	3 0 コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習 1 2 適性試験練習 2 3 適性試験練習 3 4 適性試験練習 4 5 適性試験練習 5 6 適性試験練習 6 7 適性試験練習 7 8 適性試験練習 8 9 適性試験練習 9 10 適性試験練習 1 0 11 適性試験練習 1 1 12 適性試験練習 1 2 13 適性試験練習 1 3 14 適性試験練習 1 4 15 適性試験練習 1 5 16 適性試験練習 1 6 17 適性試験練習 1 7 18 適性試験練習 1 8 19 模擬試験（適性試験） 1 20 模擬試験（適性試験） 2 21 模擬試験（適性試験） 3 22 模擬試験（適性試験） 4 23 模擬試験（適性試験） 5 24 模擬試験（適性試験） 6 25 模擬試験（適性試験） 7 26 模擬試験（適性試験） 8 27 模擬試験（適性試験） 9 28 模擬試験（適性試験） 1 0 29 模擬試験（適性試験） 1 1 30 模擬試験（適性試験） 1 2
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	4 0 時間
授業コマ数	2 0 コマ
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	適性試験の解き方を学び、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 適性試験練習 1 2 適性試験練習 2 3 適性試験練習 3 4 適性試験練習 4 5 適性試験練習 5 6 適性試験練習 6 7 適性試験練習 7 8 適性試験練習 8 9 適性試験練習 9 10 適性試験練習 1 0 11 適性試験練習 1 1 12 適性試験練習 1 2 13 適性試験練習 1 3 14 適性試験練習 1 4 15 適性試験練習 1 5 16 適性試験練習 1 6 17 適性試験練習 1 7 18 適性試験練習 1 8 19 適性試験練習 1 9 20 適性試験練習 2 0
成績評価方法 (試験実施方法)	練習課題における得点で評価
備考	適性試験練習には一部模擬試験タイプを含む

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 1 3 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 2 4 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 3 5 試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 4 6 作文練習 1 7 作文練習 2 8 作文練習 3 9 作文練習 4 10 作文練習 5 11 作文練習 6 12 作文練習 7 13 作文練習 8 14 作文練習 9 15 作文練習 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員専門論作文対策
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	演習
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	専門論文・論作文対策について学ぶ
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	専門・教養の論作文対策から公務に必要な基礎知識を習得する
教科書	デジタルテキスト
特記	
授業計画	1 専門論文・論作文演習と解説① 2 専門論文・論作文演習と解説② 3 専門論文・論作文演習と解説③ 4 専門論文・論作文演習と解説④ 5 専門論文・論作文演習と解説⑤ 6 専門論文・論作文演習と解説⑥ 7 専門論文・論作文演習と解説⑦ 8 専門論文・論作文演習と解説⑧ 9 専門論文・論作文演習と解説⑨ 10 専門論文・論作文演習と解説⑩ 11 専門論文・論作文演習と解説⑪ 12 専門論文・論作文演習と解説⑫ 13 専門論文・論作文演習と解説⑬ 14 専門論文・論作文演習と解説⑭ 15 専門論文・論作文演習と解説⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	論作文の完成度を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択G
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	2 0 時間
授業コマ数	1 0 コマ（1 コマ1 2 0 分）
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義
授業計画	1 職種別ガイダンス 1 2 職種別ガイダンス 2 3 職種別ガイダンス 3 4 職種別ガイダンス 4 5 職種別ガイダンス 5 6 職種別ガイダンス 6 7 職種別ガイダンス 7 8 職種別ガイダンス 8 9 職種別ガイダンス 9 10 職種別ガイダンス 10
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択G
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ60分です）
授業概要	労働局、行政書士会より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	1 公務員制度、公務員服務規程、業務上のマナー 2 レポート作成 3 課題研究 4 外部団体から見た公務員像 5 レポート作成 6 国民より求められる公務員倫理について 7 公務員の倫理観を高めるためには（集団討論） 8 集団討論の発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	労働局職員、行政書士会

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	英会話入門																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	前期・後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	演習																														
授業時間	3 0 時間（1 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）																														
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する																														
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																														
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>出会った時のあいさつ</td></tr> <tr><td>2</td><td>初対面の人と話す</td></tr> <tr><td>3</td><td>人を紹介する</td></tr> <tr><td>4</td><td>別れる時のあいさつ</td></tr> <tr><td>5</td><td>お礼を言う</td></tr> <tr><td>6</td><td>おわびをする</td></tr> <tr><td>7</td><td>依頼する</td></tr> <tr><td>8</td><td>許可を求める</td></tr> <tr><td>9</td><td>賛成・同意する</td></tr> <tr><td>10</td><td>反対・否定する</td></tr> <tr><td>11</td><td>聞き返す</td></tr> <tr><td>12</td><td>あいづちをうつ</td></tr> <tr><td>13</td><td>発話①</td></tr> <tr><td>14</td><td>発話②</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	出会った時のあいさつ	2	初対面の人と話す	3	人を紹介する	4	別れる時のあいさつ	5	お礼を言う	6	おわびをする	7	依頼する	8	許可を求める	9	賛成・同意する	10	反対・否定する	11	聞き返す	12	あいづちをうつ	13	発話①	14	発話②	15	効果測定
1	出会った時のあいさつ																														
2	初対面の人と話す																														
3	人を紹介する																														
4	別れる時のあいさつ																														
5	お礼を言う																														
6	おわびをする																														
7	依頼する																														
8	許可を求める																														
9	賛成・同意する																														
10	反対・否定する																														
11	聞き返す																														
12	あいづちをうつ																														
13	発話①																														
14	発話②																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	英会話基礎
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	基本的な日常会話や場面別の簡単な英会話を事例をもとに学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	場面別の簡単な英会話を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 基本の英会話① 2 基本の英会話② 3 基本の英会話③ 4 基本の英会話④ 5 基本の英会話⑤ 6 基本の英会話⑥ 7 覚えて便利な日常会話フレーズ① 8 覚えて便利な日常会話フレーズ② 9 覚えて便利な日常会話フレーズ③ 10 覚えて便利な日常会話フレーズ④ 11 覚えて便利な日常会話フレーズ⑤ 12 場面別英会話① 13 場面別英会話② 14 場面別英会話③ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel基礎
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択H
授業方法	実習
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ（1 コマ 9 0 分）
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用法を習得する
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理① 2 ワークシートやブックの作成と管理② 3 セルやセル範囲のデータの管理① 4 セルやセル範囲のデータの管理② 5 テーブルの作成① 6 テーブルの作成② 7 テーブルの作成③ 8 関数を使用してのデータ集計① 9 関数を使用してのデータ集計② 10 関数を使用してのデータ集計③ 11 関数を使用しての条件付き計算④ 12 関数を使用しての条件付き計算⑤ 13 関数を使用しての条件付き計算⑥ 14 関数を使用した文字列の整形や変更① 15 関数を使用した文字列の整形や変更② 16 関数を使用した文字列の整形や変更③ 17 グラフの作成① 18 グラフの作成② 19 グラフの作成③ 20 グラフの書式設定① 21 グラフの書式設定② 22 グラフの書式設定③ 23 グラフの書式設定④ 24 グラフの書式設定⑤ 25 オブジェクトの挿入や書式設定① 26 オブジェクトの挿入や書式設定② 27 オブジェクトの挿入や書式設定③ 28 オブジェクトの挿入や書式設定④ 29 オブジェクトの挿入や書式設定⑤ 30 オブジェクトの挿入や書式設定⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Excel応用
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	1年次
開講学期	前期・後期
科目区分	選択H
授業方法	実習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成 4 テーブルの作成 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																																		
授業科目	経営管理入門																																		
実務家教員																																			
学部・学科	法律行政科 2 年制																																		
履修年次	1 年次																																		
開講学期	前期・後期																																		
科目区分	選択H																																		
授業方法	講義及び演習																																		
授業時間	60 時間（2 単位）																																		
授業コマ数	30 コマ																																		
授業概要	経営管理の基本的理論・技法について理解し、実践への活用を考察する																																		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																																		
達成目標	経営管理の基本概念を説明できる、経営学の全体像を体系的に把握する																																		
教科書	「基礎からわかる経営管理」 欧陽 菲、産業能率大学出版部、2015年																																		
特記																																			
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1～2</td><td>経営管理と経営学の概念</td></tr> <tr><td>3～4</td><td>企業と経営管理</td></tr> <tr><td>5～6</td><td>経営機能／経営者の役割コーポレートガバナンス</td></tr> <tr><td>7～8</td><td>経営機能／経営理念、企業文化</td></tr> <tr><td>9～10</td><td>管理機能／人的資源管理、財務会計と財務管理</td></tr> <tr><td>11～12</td><td>管理機能／製品開発管理、生産管理、販売管理</td></tr> <tr><td>13～14</td><td>理論／テイラー科学的管理法</td></tr> <tr><td>15～16</td><td>理論／日本の生産システム</td></tr> <tr><td>17～18</td><td>理論／ホーソン実験人間関係論</td></tr> <tr><td>19～20</td><td>理論／行動科学、ミクロ組織論</td></tr> <tr><td>21～22</td><td>理論／バーナード組織論、ナレッジマネジメント</td></tr> <tr><td>23～24</td><td>理論／リーダーシップ論、イノベーション</td></tr> <tr><td>25</td><td>外的成長力／米国型経営</td></tr> <tr><td>26</td><td>内的持続成長力／日本型経営</td></tr> <tr><td>27</td><td>中国の経済成長と経営スタイル</td></tr> <tr><td>28～29</td><td>レポート演習</td></tr> <tr><td>30</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1～2	経営管理と経営学の概念	3～4	企業と経営管理	5～6	経営機能／経営者の役割コーポレートガバナンス	7～8	経営機能／経営理念、企業文化	9～10	管理機能／人的資源管理、財務会計と財務管理	11～12	管理機能／製品開発管理、生産管理、販売管理	13～14	理論／テイラー科学的管理法	15～16	理論／日本の生産システム	17～18	理論／ホーソン実験人間関係論	19～20	理論／行動科学、ミクロ組織論	21～22	理論／バーナード組織論、ナレッジマネジメント	23～24	理論／リーダーシップ論、イノベーション	25	外的成長力／米国型経営	26	内的持続成長力／日本型経営	27	中国の経済成長と経営スタイル	28～29	レポート演習	30	確認テスト
1～2	経営管理と経営学の概念																																		
3～4	企業と経営管理																																		
5～6	経営機能／経営者の役割コーポレートガバナンス																																		
7～8	経営機能／経営理念、企業文化																																		
9～10	管理機能／人的資源管理、財務会計と財務管理																																		
11～12	管理機能／製品開発管理、生産管理、販売管理																																		
13～14	理論／テイラー科学的管理法																																		
15～16	理論／日本の生産システム																																		
17～18	理論／ホーソン実験人間関係論																																		
19～20	理論／行動科学、ミクロ組織論																																		
21～22	理論／バーナード組織論、ナレッジマネジメント																																		
23～24	理論／リーダーシップ論、イノベーション																																		
25	外的成長力／米国型経営																																		
26	内的持続成長力／日本型経営																																		
27	中国の経済成長と経営スタイル																																		
28～29	レポート演習																																		
30	確認テスト																																		
成績評価方法 (試験実施方法)	試験100% 評価割合（客観式問題40% 論述式問題60%）																																		
備考																																			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	ライフプランニング概論Ⅰ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科２年制																														
履修年次	１年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	３０時間																														
授業コマ数	１５コマ																														
授業概要	健康保険や公的年金等に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>１</td><td>ライフプランニングと資金計画①</td></tr> <tr><td>２</td><td>ライフプランニングと資金計画②</td></tr> <tr><td>３</td><td>ライフプランニングと資金計画③</td></tr> <tr><td>４</td><td>ライフプランニングと資金計画④</td></tr> <tr><td>５</td><td>ライフプランニングと資金計画⑤</td></tr> <tr><td>６</td><td>ライフプランニングと資金計画⑥</td></tr> <tr><td>７</td><td>ライフプランニングと資金計画⑦</td></tr> <tr><td>８</td><td>ライフプランニングと資金計画⑧</td></tr> <tr><td>９</td><td>ライフプランニングと資金計画⑨</td></tr> <tr><td>１０</td><td>ライフプランニングと資金計画⑩</td></tr> <tr><td>１１</td><td>ライフプランニングと資金計画⑪</td></tr> <tr><td>１２</td><td>ライフプランニングと資金計画⑫</td></tr> <tr><td>１３</td><td>まとめ 総復習①</td></tr> <tr><td>１４</td><td>まとめ 総復習②</td></tr> <tr><td>１５</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	１	ライフプランニングと資金計画①	２	ライフプランニングと資金計画②	３	ライフプランニングと資金計画③	４	ライフプランニングと資金計画④	５	ライフプランニングと資金計画⑤	６	ライフプランニングと資金計画⑥	７	ライフプランニングと資金計画⑦	８	ライフプランニングと資金計画⑧	９	ライフプランニングと資金計画⑨	１０	ライフプランニングと資金計画⑩	１１	ライフプランニングと資金計画⑪	１２	ライフプランニングと資金計画⑫	１３	まとめ 総復習①	１４	まとめ 総復習②	１５	確認テスト
１	ライフプランニングと資金計画①																														
２	ライフプランニングと資金計画②																														
３	ライフプランニングと資金計画③																														
４	ライフプランニングと資金計画④																														
５	ライフプランニングと資金計画⑤																														
６	ライフプランニングと資金計画⑥																														
７	ライフプランニングと資金計画⑦																														
８	ライフプランニングと資金計画⑧																														
９	ライフプランニングと資金計画⑨																														
１０	ライフプランニングと資金計画⑩																														
１１	ライフプランニングと資金計画⑪																														
１２	ライフプランニングと資金計画⑫																														
１３	まとめ 総復習①																														
１４	まとめ 総復習②																														
１５	確認テスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	リスク管理概論 I																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	保険制度に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>リスク管理①</td></tr> <tr><td>2</td><td>リスク管理②</td></tr> <tr><td>3</td><td>リスク管理③</td></tr> <tr><td>4</td><td>リスク管理④</td></tr> <tr><td>5</td><td>リスク管理⑤</td></tr> <tr><td>6</td><td>リスク管理⑥</td></tr> <tr><td>7</td><td>リスク管理⑦</td></tr> <tr><td>8</td><td>リスク管理⑧</td></tr> <tr><td>9</td><td>リスク管理⑨</td></tr> <tr><td>10</td><td>リスク管理⑩</td></tr> <tr><td>11</td><td>リスク管理⑪</td></tr> <tr><td>12</td><td>リスク管理⑫</td></tr> <tr><td>13</td><td>まとめ 総復習①</td></tr> <tr><td>14</td><td>まとめ 総復習②</td></tr> <tr><td>15</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	リスク管理①	2	リスク管理②	3	リスク管理③	4	リスク管理④	5	リスク管理⑤	6	リスク管理⑥	7	リスク管理⑦	8	リスク管理⑧	9	リスク管理⑨	10	リスク管理⑩	11	リスク管理⑪	12	リスク管理⑫	13	まとめ 総復習①	14	まとめ 総復習②	15	確認テスト
1	リスク管理①																														
2	リスク管理②																														
3	リスク管理③																														
4	リスク管理④																														
5	リスク管理⑤																														
6	リスク管理⑥																														
7	リスク管理⑦																														
8	リスク管理⑧																														
9	リスク管理⑨																														
10	リスク管理⑩																														
11	リスク管理⑪																														
12	リスク管理⑫																														
13	まとめ 総復習①																														
14	まとめ 総復習②																														
15	確認テスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	金融資産運用設計概論 I																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	金融資産、経済等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>金融資産運用①</td></tr> <tr><td>2</td><td>金融資産運用②</td></tr> <tr><td>3</td><td>金融資産運用③</td></tr> <tr><td>4</td><td>金融資産運用④</td></tr> <tr><td>5</td><td>金融資産運用⑤</td></tr> <tr><td>6</td><td>金融資産運用⑥</td></tr> <tr><td>7</td><td>金融資産運用⑦</td></tr> <tr><td>8</td><td>金融資産運用⑧</td></tr> <tr><td>9</td><td>金融資産運用⑨</td></tr> <tr><td>10</td><td>金融資産運用⑩</td></tr> <tr><td>11</td><td>金融資産運用⑪</td></tr> <tr><td>12</td><td>金融資産運用⑫</td></tr> <tr><td>13</td><td>まとめ 総復習①</td></tr> <tr><td>14</td><td>まとめ 総復習②</td></tr> <tr><td>15</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	金融資産運用①	2	金融資産運用②	3	金融資産運用③	4	金融資産運用④	5	金融資産運用⑤	6	金融資産運用⑥	7	金融資産運用⑦	8	金融資産運用⑧	9	金融資産運用⑨	10	金融資産運用⑩	11	金融資産運用⑪	12	金融資産運用⑫	13	まとめ 総復習①	14	まとめ 総復習②	15	確認テスト
1	金融資産運用①																														
2	金融資産運用②																														
3	金融資産運用③																														
4	金融資産運用④																														
5	金融資産運用⑤																														
6	金融資産運用⑥																														
7	金融資産運用⑦																														
8	金融資産運用⑧																														
9	金融資産運用⑨																														
10	金融資産運用⑩																														
11	金融資産運用⑪																														
12	金融資産運用⑫																														
13	まとめ 総復習①																														
14	まとめ 総復習②																														
15	確認テスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	タックスプランニング概論 I																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	所得税を中心に専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>タックスプランニング①</td></tr> <tr><td>2</td><td>タックスプランニング②</td></tr> <tr><td>3</td><td>タックスプランニング③</td></tr> <tr><td>4</td><td>タックスプランニング④</td></tr> <tr><td>5</td><td>タックスプランニング⑤</td></tr> <tr><td>6</td><td>タックスプランニング⑥</td></tr> <tr><td>7</td><td>タックスプランニング⑦</td></tr> <tr><td>8</td><td>タックスプランニング⑧</td></tr> <tr><td>9</td><td>タックスプランニング⑨</td></tr> <tr><td>10</td><td>タックスプランニング⑩</td></tr> <tr><td>11</td><td>タックスプランニング⑪</td></tr> <tr><td>12</td><td>タックスプランニング⑫</td></tr> <tr><td>13</td><td>まとめ 総復習①</td></tr> <tr><td>14</td><td>まとめ 総復習②</td></tr> <tr><td>15</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	タックスプランニング①	2	タックスプランニング②	3	タックスプランニング③	4	タックスプランニング④	5	タックスプランニング⑤	6	タックスプランニング⑥	7	タックスプランニング⑦	8	タックスプランニング⑧	9	タックスプランニング⑨	10	タックスプランニング⑩	11	タックスプランニング⑪	12	タックスプランニング⑫	13	まとめ 総復習①	14	まとめ 総復習②	15	確認テスト
1	タックスプランニング①																														
2	タックスプランニング②																														
3	タックスプランニング③																														
4	タックスプランニング④																														
5	タックスプランニング⑤																														
6	タックスプランニング⑥																														
7	タックスプランニング⑦																														
8	タックスプランニング⑧																														
9	タックスプランニング⑨																														
10	タックスプランニング⑩																														
11	タックスプランニング⑪																														
12	タックスプランニング⑫																														
13	まとめ 総復習①																														
14	まとめ 総復習②																														
15	確認テスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	不動産運用設計概論Ⅰ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科２年制																														
履修年次	１年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	３０時間																														
授業コマ数	１５コマ																														
授業概要	不動産に関連する法律や規制など専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	専門用語や法律を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>不動産①</td></tr> <tr><td>2</td><td>不動産②</td></tr> <tr><td>3</td><td>不動産③</td></tr> <tr><td>4</td><td>不動産④</td></tr> <tr><td>5</td><td>不動産⑤</td></tr> <tr><td>6</td><td>不動産⑥</td></tr> <tr><td>7</td><td>不動産⑦</td></tr> <tr><td>8</td><td>不動産⑧</td></tr> <tr><td>9</td><td>不動産⑨</td></tr> <tr><td>10</td><td>不動産⑩</td></tr> <tr><td>11</td><td>不動産⑪</td></tr> <tr><td>12</td><td>不動産⑫</td></tr> <tr><td>13</td><td>まとめ 総復習①</td></tr> <tr><td>14</td><td>まとめ 総復習②</td></tr> <tr><td>15</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	1	不動産①	2	不動産②	3	不動産③	4	不動産④	5	不動産⑤	6	不動産⑥	7	不動産⑦	8	不動産⑧	9	不動産⑨	10	不動産⑩	11	不動産⑪	12	不動産⑫	13	まとめ 総復習①	14	まとめ 総復習②	15	確認テスト
1	不動産①																														
2	不動産②																														
3	不動産③																														
4	不動産④																														
5	不動産⑤																														
6	不動産⑥																														
7	不動産⑦																														
8	不動産⑧																														
9	不動産⑨																														
10	不動産⑩																														
11	不動産⑪																														
12	不動産⑫																														
13	まとめ 総復習①																														
14	まとめ 総復習②																														
15	確認テスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅰ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科２年制																														
履修年次	１年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	３０時間																														
授業コマ数	１５コマ																														
授業概要	相続・贈与等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>１</td><td>相続・事業継承①</td></tr> <tr><td>２</td><td>相続・事業継承②</td></tr> <tr><td>３</td><td>相続・事業承継③</td></tr> <tr><td>４</td><td>相続・事業承継④</td></tr> <tr><td>５</td><td>相続・事業承継⑤</td></tr> <tr><td>６</td><td>相続・事業承継⑥</td></tr> <tr><td>７</td><td>相続・事業承継⑦</td></tr> <tr><td>８</td><td>相続・事業承継⑧</td></tr> <tr><td>９</td><td>相続・事業承継⑨</td></tr> <tr><td>１０</td><td>相続・事業承継⑩</td></tr> <tr><td>１１</td><td>相続・事業承継⑪</td></tr> <tr><td>１２</td><td>相続・事業承継⑫</td></tr> <tr><td>１３</td><td>まとめ 総復習①</td></tr> <tr><td>１４</td><td>まとめ 総復習②</td></tr> <tr><td>１５</td><td>確認テスト</td></tr> </table>	１	相続・事業継承①	２	相続・事業継承②	３	相続・事業承継③	４	相続・事業承継④	５	相続・事業承継⑤	６	相続・事業承継⑥	７	相続・事業承継⑦	８	相続・事業承継⑧	９	相続・事業承継⑨	１０	相続・事業承継⑩	１１	相続・事業承継⑪	１２	相続・事業承継⑫	１３	まとめ 総復習①	１４	まとめ 総復習②	１５	確認テスト
１	相続・事業継承①																														
２	相続・事業継承②																														
３	相続・事業承継③																														
４	相続・事業承継④																														
５	相続・事業承継⑤																														
６	相続・事業承継⑥																														
７	相続・事業承継⑦																														
８	相続・事業承継⑧																														
９	相続・事業承継⑨																														
１０	相続・事業承継⑩																														
１１	相続・事業承継⑪																														
１２	相続・事業承継⑫																														
１３	まとめ 総復習①																														
１４	まとめ 総復習②																														
１５	確認テスト																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科２年制
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	事務職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 事務職に適したスーツの着こなし - 事務職に適した身だしなみ - 敬語の使い方 - 事務職で良く聞かれる質疑応答① - 事務職で良く聞かれる質疑応答② - 筆記試験とは（一般常識試験）① - 筆記試験とは（一般常識試験）② - 筆記試験とは（適性検査試験）① - 筆記試験とは（適性検査試験）② - 作文の目的・形式と内容① - 作文の目的・形式と内容② - 作文の実践テクニック① - 作文の実践テクニック② - 作文の実践テクニック③ - 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科２年制
履修年次	１年次
開講学期	後期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	事務職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	事務職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 事務職職種研究① 7 事務職職種研究② 8 事務職職種研究③ 9 事務職職種研究④ 10 事務職職種研究⑤ 11 事務職への志望理由① 12 事務職への志望理由② 13 事務職への志望理由③ 14 事務職への志望理由④ 15 事務職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅠ
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科２年制
履修年次	１年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	- 販売・接客・企画職に適したスーツの着こなし - 販売・接客・企画職に適した身だしなみ - 敬語の使い方 - 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答① - 販売・接客・企画職で良く聞かれる質疑応答② - 筆記試験とは（一般常識試験）① - 筆記試験とは（一般常識試験）② - 筆記試験とは（適性検査試験）① - 筆記試験とは（適性検査試験）② - 作文の目的・形式と内容① - 作文の目的・形式と内容② - 作文の実践テクニック① - 作文の実践テクニック② - 作文の実践テクニック③ - 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％ 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	選択H
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	販売・接客・企画職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	販売・接客・企画職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 販売・接客・企画職職種研究① 7 販売・接客・企画職職種研究② 8 販売・接客・企画職職種研究③ 9 販売・接客・企画職職種研究④ 10 販売・接客・企画職職種研究⑤ 11 販売・接客・企画職への志望理由① 12 販売・接客・企画職への志望理由② 13 販売・接客・企画職への志望理由③ 14 販売・接客・企画職への志望理由④ 15 販売・接客・企画職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じての対人コミュニケーション能力を身に着ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自己分析、自己PRの完成及び発表	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己PRとは
	2	自己分析の方法・注意点
	3～5	自己分析作業
	6	自己PRの作り方
	7～11	自己PRの作成作業
	12～13	自己PR修正作業
	14～15	自己PR発表
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	販売知識基礎		
実務家教員	○		
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	前期・後期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目）		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する		
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ		
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③	32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	販売知識応用		
実務家教員	○		
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	前期・後期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目）		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ		
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する		
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ		
達成目標	リテールマーケティング検定 3 級レベルの知識を理解し身に付ける		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1 商圏の設定と出店① 2 商圏の設定と出店② 3 商圏の設定と出店③ 4 リージョナルプロモーション① 5 リージョナルプロモーション② 6 リージョナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディ스플레이① 20 ディ스플레이② 21 ディ스플레이③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥		商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ライフプランニング概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	総まとめ 問題対策・演習⑮
	16	総まとめ 問題対策・演習⑯
	17	総まとめ 問題対策・演習⑰
	18	総まとめ 問題対策・演習⑱
	19	総まとめ 問題対策・演習⑲
	20	総まとめ 問題対策・演習⑳
	21	総まとめ 問題対策・演習㉑
	22	総まとめ 問題対策・演習㉒
	23	総まとめ 問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①
	25	総合問題演習②
	26	総合問題演習③
	27	総合問題演習④
	28	総合問題演習⑤
	29	総合問題演習⑥
	30	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	リスク管理概論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	6 0 時間		
授業コマ数	3 0 コマ		
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①
	2	総まとめ	問題対策・演習②
	3	総まとめ	問題対策・演習③
	4	総まとめ	問題対策・演習④
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭
	15	総まとめ	問題対策・演習⑮
	16	総まとめ	問題対策・演習⑯
	17	総まとめ	問題対策・演習⑰
	18	総まとめ	問題対策・演習⑱
	19	総まとめ	問題対策・演習⑲
	20	総まとめ	問題対策・演習⑳
	21	総まとめ	問題対策・演習㉑
	22	総まとめ	問題対策・演習㉒
	23	総まとめ	問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①	
	25	総合問題演習②	
	26	総合問題演習③	
	27	総合問題演習④	
	28	総合問題演習⑤	
	29	総合問題演習⑥	
	30	模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政科 2 年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択H			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	6 0 時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①	
	2	総まとめ	問題対策・演習②	
	3	総まとめ	問題対策・演習③	
	4	総まとめ	問題対策・演習④	
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤	
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥	
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦	
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧	
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨	
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩	
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪	
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫	
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬	
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭	
	15	総まとめ	問題対策・演習⑮	
	16	総まとめ	問題対策・演習⑯	
	17	総まとめ	問題対策・演習⑰	
	18	総まとめ	問題対策・演習⑱	
	19	総まとめ	問題対策・演習⑲	
	20	総まとめ	問題対策・演習⑳	
	21	総まとめ	問題対策・演習㉑	
	22	総まとめ	問題対策・演習㉒	
	23	総まとめ	問題対策・演習㉓	
	24	総合問題演習①		
	25	総合問題演習②		
	26	総合問題演習③		
	27	総合問題演習④		
	28	総合問題演習⑤		
	29	総合問題演習⑥		
	30	模擬試験		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	タックスプランニング概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	6 0 時間	
授業コマ数	3 0 コマ	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	総まとめ 問題対策・演習⑮
	16	総まとめ 問題対策・演習⑯
	17	総まとめ 問題対策・演習⑰
	18	総まとめ 問題対策・演習⑱
	19	総まとめ 問題対策・演習⑲
	20	総まとめ 問題対策・演習⑳
	21	総まとめ 問題対策・演習㉑
	22	総まとめ 問題対策・演習㉒
	23	総まとめ 問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①
	25	総合問題演習②
	26	総合問題演習③
	27	総合問題演習④
	28	総合問題演習⑤
	29	総合問題演習⑥
	30	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	不動産運用設計概論Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政科 2 年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	前期			
科目区分	選択H			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	6 0 時間			
授業コマ数	3 0 コマ			
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①	
	2	総まとめ	問題対策・演習②	
	3	総まとめ	問題対策・演習③	
	4	総まとめ	問題対策・演習④	
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤	
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥	
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦	
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧	
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨	
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩	
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪	
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫	
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬	
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭	
	15	総まとめ	問題対策・演習⑮	
	16	総まとめ	問題対策・演習⑯	
	17	総まとめ	問題対策・演習⑰	
	18	総まとめ	問題対策・演習⑱	
	19	総まとめ	問題対策・演習⑲	
	20	総まとめ	問題対策・演習⑳	
	21	総まとめ	問題対策・演習㉑	
	22	総まとめ	問題対策・演習㉒	
	23	総まとめ	問題対策・演習㉓	
	24	総合問題演習①		
	25	総合問題演習②		
	26	総合問題演習③		
	27	総合問題演習④		
	28	総合問題演習⑤		
	29	総合問題演習⑥		
	30	模擬試験		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅱ		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科２年制		
履修年次	２年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	３０時間		
授業コマ数	１５コマ		
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①
	2	総まとめ	問題対策・演習②
	3	総まとめ	問題対策・演習③
	4	総まとめ	問題対策・演習④
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭
	15	模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	ライフプランニング概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	社会保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①
	2	総まとめ	問題対策・演習②
	3	総まとめ	問題対策・演習③
	4	総まとめ	問題対策・演習④
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭
	15	模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	リスク管理概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科２年制		
履修年次	２年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	３０時間		
授業コマ数	１５コマ		
授業概要	保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①
	2	総まとめ	問題対策・演習②
	3	総まとめ	問題対策・演習③
	4	総まとめ	問題対策・演習④
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭
	15	模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	金融資産運用に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①
	2	総まとめ	問題対策・演習②
	3	総まとめ	問題対策・演習③
	4	総まとめ	問題対策・演習④
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭
	15	模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	タックスプランニング概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	税全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①
	2	総まとめ	問題対策・演習②
	3	総まとめ	問題対策・演習③
	4	総まとめ	問題対策・演習④
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭
	15	模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	不動産運用設計概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	不動産に関する法律や専門用語、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①
	2	総まとめ	問題対策・演習②
	3	総まとめ	問題対策・演習③
	4	総まとめ	問題対策・演習④
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭
	15	模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅲ		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	前期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義及び演習		
授業時間	3 0 時間		
授業コマ数	1 5 コマ		
授業概要	相続・贈与等に関連する用語の理解、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る		
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す		
教科書	オリジナルテキスト		
特記			
授業計画	1	総まとめ	問題対策・演習①
	2	総まとめ	問題対策・演習②
	3	総まとめ	問題対策・演習③
	4	総まとめ	問題対策・演習④
	5	総まとめ	問題対策・演習⑤
	6	総まとめ	問題対策・演習⑥
	7	総まとめ	問題対策・演習⑦
	8	総まとめ	問題対策・演習⑧
	9	総まとめ	問題対策・演習⑨
	10	総まとめ	問題対策・演習⑩
	11	総まとめ	問題対策・演習⑪
	12	総まとめ	問題対策・演習⑫
	13	総まとめ	問題対策・演習⑬
	14	総まとめ	問題対策・演習⑭
	15	模擬試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	金融市場政策論																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科2年制																														
履修年次	2年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	講義及び演習																														
授業時間	30時間（1単位）																														
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）																														
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習																														
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																														
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>金融の役割①</td></tr> <tr><td>2</td><td>金融の役割②</td></tr> <tr><td>3</td><td>金融の役割③</td></tr> <tr><td>4</td><td>各種金融市場①</td></tr> <tr><td>5</td><td>各種金融市場②</td></tr> <tr><td>6</td><td>各種金融市場③</td></tr> <tr><td>7</td><td>中央銀行の役割①</td></tr> <tr><td>8</td><td>中央銀行の役割②</td></tr> <tr><td>9</td><td>中央銀行の役割③</td></tr> <tr><td>10</td><td>中央銀行の役割④</td></tr> <tr><td>11</td><td>中央銀行の役割⑤</td></tr> <tr><td>12</td><td>中央銀行の役割⑥</td></tr> <tr><td>13</td><td>世界の中央銀行</td></tr> <tr><td>14</td><td>総まとめ</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	金融の役割①	2	金融の役割②	3	金融の役割③	4	各種金融市場①	5	各種金融市場②	6	各種金融市場③	7	中央銀行の役割①	8	中央銀行の役割②	9	中央銀行の役割③	10	中央銀行の役割④	11	中央銀行の役割⑤	12	中央銀行の役割⑥	13	世界の中央銀行	14	総まとめ	15	効果測定
1	金融の役割①																														
2	金融の役割②																														
3	金融の役割③																														
4	各種金融市場①																														
5	各種金融市場②																														
6	各種金融市場③																														
7	中央銀行の役割①																														
8	中央銀行の役割②																														
9	中央銀行の役割③																														
10	中央銀行の役割④																														
11	中央銀行の役割⑤																														
12	中央銀行の役割⑥																														
13	世界の中央銀行																														
14	総まとめ																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経営常識
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択H
授業方法	講義及び演習
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 国際社会に関する基礎用語
	2～3 国際社会に関する事例学習
	4 経済に関する基礎用語
	5 経済に関する事例学習
	6 労働環境に関する基礎用語
	7 労働環境に関する事例学習
	8 経営に関する基礎用語
	9～10 経営に関する事例学習
	11 I T 社会に関する基礎用語
	12～13 I T 社会に関する事例学習
	14 A I に関する基礎用語
	15 A I に関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																		
授業科目	キャリアデザインⅢ																		
実務家教員																			
学部・学科	法律行政科２年制																		
履修年次	２年次																		
開講学期	前期																		
科目区分	選択H																		
授業方法	講義及び演習																		
授業時間	３０時間（１単位）																		
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）																		
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習																		
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る																		
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける																		
教科書	オリジナルテキスト																		
特記																			
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>社会人マナー</td></tr> <tr><td>2</td><td>冠婚葬祭マナー</td></tr> <tr><td>3</td><td>贈答マナー</td></tr> <tr><td>4</td><td>会食マナー</td></tr> <tr><td>5</td><td>時事研究</td></tr> <tr><td>6</td><td></td></tr> <tr><td>～</td><td>グループ討議</td></tr> <tr><td>14</td><td></td></tr> <tr><td>15</td><td>発表</td></tr> </table>	1	社会人マナー	2	冠婚葬祭マナー	3	贈答マナー	4	会食マナー	5	時事研究	6		～	グループ討議	14		15	発表
1	社会人マナー																		
2	冠婚葬祭マナー																		
3	贈答マナー																		
4	会食マナー																		
5	時事研究																		
6																			
～	グループ討議																		
14																			
15	発表																		
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																		
備考																			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ（1 コマ 9 0 分）
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並び替え、グループ化① 9 スライドの並び替え、グループ化② 10 スライドの並び替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザインⅠ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科２年制
履修年次	２年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	３０時間（１単位）
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）
授業概要	経理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 経理職に適したスーツの着こなし 2 経理職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 経理職で良く聞かれる質疑応答① 5 経理職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは（一般常識試験）① 7 筆記試験とは（一般常識試験）② 8 筆記試験とは（適性検査試験）① 9 筆記試験とは（適性検査試験）② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	経理職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 経理職職種研究① 7 経理職職種研究② 8 経理職職種研究③ 9 経理職職種研究④ 10 経理職職種研究⑤ 11 経理職への志望理由① 12 経理職への志望理由② 13 経理職への志望理由③ 14 経理職への志望理由④ 15 経理職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4・5 6・7 8 9 10・11 12・13 14・15	挨拶の種類・笑顔、お辞儀 正しい敬語の使い方 状況に応じた言葉遣い 演習 効果測定 応対の基本 名刺交換 演習 総合演習 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4～6 7 8～13 14・15	電話対応のマナー 電話の受け方の基本 電話の受け方～道案内～ 演習 電話のかけ方 演習 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅤ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3～5 6～8 9 10～12 13 14・15	状況別の電話応対 状況別の応対方法 演習 電話応対練習① 伝言の受け方 演習 電話応対練習② 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	応対の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	接客販売の心得
	2	お客様の心理理解
	3	接客用語
	4	状況別の店内接客
	5	状況別の店内接客
	6	演習
	7	演習
	8	電話応対での問い合わせ
	9	演習
	10	演習
	11	総合演習
	12	総合演習
	13	総合演習
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	流通キャリアデザインⅤ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	前期・後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	実習																														
授業時間	3 0 時間（1 単位）																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習																														
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																														
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける																														
教科書	オリジナルテキスト																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>営業職のマナー①</td></tr> <tr><td>2</td><td>営業職のマナー②</td></tr> <tr><td>3</td><td>訪問のマナー①</td></tr> <tr><td>4</td><td>訪問のマナー②</td></tr> <tr><td>5</td><td>演習</td></tr> <tr><td>6</td><td>演習</td></tr> <tr><td>7</td><td>商談の進め方①</td></tr> <tr><td>8</td><td>商談の進め方②</td></tr> <tr><td>9</td><td>演習</td></tr> <tr><td>10</td><td>演習</td></tr> <tr><td>11</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>12</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>13</td><td>総合演習</td></tr> <tr><td>14</td><td>効果測定</td></tr> <tr><td>15</td><td>効果測定</td></tr> </table>	1	営業職のマナー①	2	営業職のマナー②	3	訪問のマナー①	4	訪問のマナー②	5	演習	6	演習	7	商談の進め方①	8	商談の進め方②	9	演習	10	演習	11	総合演習	12	総合演習	13	総合演習	14	効果測定	15	効果測定
1	営業職のマナー①																														
2	営業職のマナー②																														
3	訪問のマナー①																														
4	訪問のマナー②																														
5	演習																														
6	演習																														
7	商談の進め方①																														
8	商談の進め方②																														
9	演習																														
10	演習																														
11	総合演習																														
12	総合演習																														
13	総合演習																														
14	効果測定																														
15	効果測定																														
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	6 0 時間（2 単位）
授業コマ数	3 0 コマ（1 コマ 9 0 分）
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	Word応用
実務家教員	
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	接遇ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 2 3 4 5 6~7 8~13 14~15	接遇マナーとは 接遇の心構え お茶の入れ方、出し方 お見送り 後片付け 接遇の流れ 演習 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	パソコン実習Ⅱ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科2年制																														
履修年次	2年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	実習																														
授業時間	30時間（1単位）																														
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）																														
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習																														
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																														
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>文章の作成と管理①</td></tr> <tr><td>2</td><td>文章の作成と管理②</td></tr> <tr><td>3</td><td>文章の作成と管理③</td></tr> <tr><td>4</td><td>表作成の基本操作①</td></tr> <tr><td>5</td><td>表作成の基本操作②</td></tr> <tr><td>6</td><td>表作成の基本操作③</td></tr> <tr><td>7</td><td>表、画像、図形を使った文書の作成（2）①</td></tr> <tr><td>8</td><td>表、画像、図形を使った文書の作成（2）②</td></tr> <tr><td>9</td><td>表、画像、図形を使った文書の作成（2）③</td></tr> <tr><td>10</td><td>見やすく使いやすい表にする編集操作①</td></tr> <tr><td>11</td><td>見やすく使いやすい表にする編集操作②</td></tr> <tr><td>12</td><td>見やすく使いやすい表にする編集操作③</td></tr> <tr><td>13</td><td>見やすく使いやすい表にする編集操作④</td></tr> <tr><td>14</td><td>見やすく使いやすい表にする編集操作⑤</td></tr> <tr><td>15</td><td>見やすく使いやすい表にする編集操作⑥</td></tr> </table>	1	文章の作成と管理①	2	文章の作成と管理②	3	文章の作成と管理③	4	表作成の基本操作①	5	表作成の基本操作②	6	表作成の基本操作③	7	表、画像、図形を使った文書の作成（2）①	8	表、画像、図形を使った文書の作成（2）②	9	表、画像、図形を使った文書の作成（2）③	10	見やすく使いやすい表にする編集操作①	11	見やすく使いやすい表にする編集操作②	12	見やすく使いやすい表にする編集操作③	13	見やすく使いやすい表にする編集操作④	14	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤	15	見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
1	文章の作成と管理①																														
2	文章の作成と管理②																														
3	文章の作成と管理③																														
4	表作成の基本操作①																														
5	表作成の基本操作②																														
6	表作成の基本操作③																														
7	表、画像、図形を使った文書の作成（2）①																														
8	表、画像、図形を使った文書の作成（2）②																														
9	表、画像、図形を使った文書の作成（2）③																														
10	見やすく使いやすい表にする編集操作①																														
11	見やすく使いやすい表にする編集操作②																														
12	見やすく使いやすい表にする編集操作③																														
13	見やすく使いやすい表にする編集操作④																														
14	見やすく使いやすい表にする編集操作⑤																														
15	見やすく使いやすい表にする編集操作⑥																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	パソコン実習Ⅲ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科２年制																														
履修年次	２年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択H																														
授業方法	実習																														
授業時間	３０時間（１単位）																														
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）																														
授業概要	Word：長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel：目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習																														
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																														
達成目標	Word：段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel：複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>文書の作成と管理①</td></tr> <tr><td>2</td><td>文書の作成と管理②</td></tr> <tr><td>3</td><td>文書の作成と管理③</td></tr> <tr><td>4</td><td>数式・関数を活用した集計表の作成①</td></tr> <tr><td>5</td><td>数式・関数を活用した集計表の作成②</td></tr> <tr><td>6</td><td>数式・関数を活用した集計表の作成③</td></tr> <tr><td>7</td><td>ワークシート間の集計①</td></tr> <tr><td>8</td><td>ワークシート間の集計②</td></tr> <tr><td>9</td><td>ワークシート間の集計③</td></tr> <tr><td>10</td><td>グラフの基本①</td></tr> <tr><td>11</td><td>グラフの基本②</td></tr> <tr><td>12</td><td>グラフの基本③</td></tr> <tr><td>13</td><td>目的に応じたグラフの作成と編集①</td></tr> <tr><td>14</td><td>目的に応じたグラフの作成と編集②</td></tr> <tr><td>15</td><td>目的に応じたグラフの作成と編集③</td></tr> </table>	1	文書の作成と管理①	2	文書の作成と管理②	3	文書の作成と管理③	4	数式・関数を活用した集計表の作成①	5	数式・関数を活用した集計表の作成②	6	数式・関数を活用した集計表の作成③	7	ワークシート間の集計①	8	ワークシート間の集計②	9	ワークシート間の集計③	10	グラフの基本①	11	グラフの基本②	12	グラフの基本③	13	目的に応じたグラフの作成と編集①	14	目的に応じたグラフの作成と編集②	15	目的に応じたグラフの作成と編集③
1	文書の作成と管理①																														
2	文書の作成と管理②																														
3	文書の作成と管理③																														
4	数式・関数を活用した集計表の作成①																														
5	数式・関数を活用した集計表の作成②																														
6	数式・関数を活用した集計表の作成③																														
7	ワークシート間の集計①																														
8	ワークシート間の集計②																														
9	ワークシート間の集計③																														
10	グラフの基本①																														
11	グラフの基本②																														
12	グラフの基本③																														
13	目的に応じたグラフの作成と編集①																														
14	目的に応じたグラフの作成と編集②																														
15	目的に応じたグラフの作成と編集③																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	パソコン実習Ⅳ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科２年制																														
履修年次	２年次																														
開講学期	後期																														
科目区分	選択Ⅱ																														
授業方法	実習																														
授業時間	３０時間（１単位）																														
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）																														
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習																														
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る																														
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる																														
教科書	テキスト及び参考書																														
特記																															
授業計画	<table border="1"> <tr><td>１</td><td>文書の作成と管理①</td></tr> <tr><td>２</td><td>文書の作成と管理②</td></tr> <tr><td>３</td><td>文書の作成と管理③</td></tr> <tr><td>４</td><td>データベース機能の利用①</td></tr> <tr><td>５</td><td>データベース機能の利用②</td></tr> <tr><td>６</td><td>データベース機能の利用③</td></tr> <tr><td>７</td><td>データの抽出①</td></tr> <tr><td>８</td><td>データの抽出②</td></tr> <tr><td>９</td><td>データの抽出③</td></tr> <tr><td>１０</td><td>ピボットテーブル①</td></tr> <tr><td>１１</td><td>ピボットテーブル②</td></tr> <tr><td>１２</td><td>ピボットテーブル③</td></tr> <tr><td>１３</td><td>マクロによる作業の自動化①</td></tr> <tr><td>１４</td><td>マクロによる作業の自動化②</td></tr> <tr><td>１５</td><td>マクロによる作業の自動化③</td></tr> </table>	１	文書の作成と管理①	２	文書の作成と管理②	３	文書の作成と管理③	４	データベース機能の利用①	５	データベース機能の利用②	６	データベース機能の利用③	７	データの抽出①	８	データの抽出②	９	データの抽出③	１０	ピボットテーブル①	１１	ピボットテーブル②	１２	ピボットテーブル③	１３	マクロによる作業の自動化①	１４	マクロによる作業の自動化②	１５	マクロによる作業の自動化③
１	文書の作成と管理①																														
２	文書の作成と管理②																														
３	文書の作成と管理③																														
４	データベース機能の利用①																														
５	データベース機能の利用②																														
６	データベース機能の利用③																														
７	データの抽出①																														
８	データの抽出②																														
９	データの抽出③																														
１０	ピボットテーブル①																														
１１	ピボットテーブル②																														
１２	ピボットテーブル③																														
１３	マクロによる作業の自動化①																														
１４	マクロによる作業の自動化②																														
１５	マクロによる作業の自動化③																														
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト１００％ 科目習熟度を測定するテスト																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容										
授業科目	パソコン実習Ⅴ										
実務家教員											
学部・学科	法律行政科 2 年制										
履修年次	2 年次										
開講学期	後期										
科目区分	選択H										
授業方法	実習										
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）										
授業コマ数	9 0 コマ（1 コマ 9 0 分）										
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける										
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る										
達成目標	Word：MOS Word2016またはWord2016エキスパートの合格を目指す										
教科書	問題集										
特記											
授業計画	1	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの説明		MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの振り返り			
	2	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの練習	47	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト			
	3	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの実践	48	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードの振り返り			
	4	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの振り返り	49	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの実践			
	5	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードの練習	50	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの振り返り			
	6	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト	51	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト			
	7	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードの振り返り	52	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードの振り返り			
	8	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの説明	53	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの実践			
	9	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの練習	54	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの振り返り			
	10	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの実践	55	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト			
	11	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの振り返り	56	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードの振り返り			
	12	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードの練習	57	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施				
	13	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト	58	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの実践			
	14	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードの振り返り	59	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト			
	15	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの説明	60	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習・本番モードの振り返り			
	16	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの練習	61	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの実践			
	17	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの実践	62	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト			
	18	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの振り返り	63	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習・本番モードの振り返り			
	19	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードの練習	64	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの実践			
	20	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト	65	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト			
	21	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードの振り返り	66	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習・本番モードの振り返り			
	22	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの説明	67	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの実践			
	23	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの練習	68	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト			
	24	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの実践	69	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習・本番モードの振り返り			
	25	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	練習モードの振り返り	70	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの実践			
	26	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードの練習	71	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト			
	27	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト	72	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習・本番モードの振り返り			
	28	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードの振り返り	73	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施				
	29	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの説明	74	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト			
	30	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの練習	75	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト			
	31	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの実践	76	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト			
	32	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	練習モードの振り返り	77	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト			
	33	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードの練習	78	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト			
	34	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト	79	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施				
	35	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードの振り返り	80	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト			
	36	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施			81	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト		
	37	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの実践	82	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	本番モードのテスト			
	38	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	練習モードの振り返り	83	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト4	本番モードのテスト			
	39	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードのテスト	84	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト5	本番モードのテスト			
	40	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト1	本番モードの振り返り	85	MOS模擬テストWord2016	実力判定テストの実施				
	41	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの実践	86	演習・復習日					
	42	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	練習モードの振り返り	87	演習・復習日					
	43	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードのテスト	88	演習・復習日					
	44	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト2	本番モードの振り返り	89	演習・復習日					
	45	MOS模擬テストWord2016	模擬テスト3	練習モードの実践	90	演習・復習日					
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況										
備考											

授業概要（シラバス）

タイトル	内容				
授業科目	パソコン実習Ⅵ				
実務家教員					
学部・学科	法律行政科 2 年制				
履修年次	2 年次				
開講学期	後期				
科目区分	選択H				
授業方法	実習				
授業時間	1 8 0 時間（6 単位）				
授業コマ数	9 0 コマ（1 コマ 9 0 分）				
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける				
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る				
達成目標	Excel：MOS Excel2016またはExcel2016エキスパートの合格を目指す				
教科書	問題集				
特記					
授業計画	1	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの説明	
	2	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの練習	47
	3	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの実践	48
	4	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの振り返り	49
	5	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードの練習	50
	6	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードのテスト	51
	7	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードの振り返り	52
	8	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの説明	53
	9	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの練習	54
	10	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの実践	55
	11	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの振り返り	56
	12	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードの練習	57
	13	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードのテスト	58
	14	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードの振り返り	59
	15	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習モードの説明	60
	16	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習モードの練習	61
	17	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習モードの実践	62
	18	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習モードの振り返り	63
	19	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	本番モードの練習	64
	20	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	本番モードのテスト	65
	21	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	本番モードの振り返り	66
	22	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	練習モードの説明	67
	23	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	練習モードの練習	68
	24	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	練習モードの実践	69
	25	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	練習モードの振り返り	70
	26	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	本番モードの練習	71
	27	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	本番モードのテスト	72
	28	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト4	本番モードの振り返り	73
	29	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	練習モードの説明	74
	30	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	練習モードの練習	75
	31	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	練習モードの実践	76
	32	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	練習モードの振り返り	77
	33	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	本番モードの練習	78
	34	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	本番モードのテスト	79
	35	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト5	本番モードの振り返り	80
	36	MOS模擬テストExcel2016	実力判定テストの実施		81
	37	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの実践	82
	38	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	練習モードの振り返り	83
	39	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードのテスト	84
	40	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト1	本番モードの振り返り	85
	41	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの実践	86
	42	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	練習モードの振り返り	87
	43	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードのテスト	88
	44	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト2	本番モードの振り返り	89
	45	MOS模擬テストExcel2016	模擬テスト3	練習モードの実践	90
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況				
備考					

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パソコン実習Ⅶ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政科 2 年制			
履修年次	2 年次			
開講学期	後期			
科目区分	選択H			
授業方法	実習			
授業時間	1 2 0 時間（4 単位）			
授業コマ数	6 0 コマ（1 コマ 9 0 分）			
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	PowerPoint：MOS PowerPoint2016またはPowerPoint2016エキスパートの合格を目指す			
教科書	問題集			
特記				
授業計画	1	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの説明		MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの実践
	2	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの練習	32	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの振り返り
	3	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの実践	33	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの練習
	4	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り	34	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
	5	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの練習	35	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの振り返り
	6	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードのテスト	36	MOS模擬テストPowerPoint2016 実力判定テストの実施
	7	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り	37	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの実践
	8	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの説明	38	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り
	9	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの練習	39	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
	10	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの実践	40	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り
	11	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り	41	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの実践
	12	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの練習	42	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り
	13	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードのテスト	43	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
	14	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り	44	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り
	15	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの説明	45	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの実践
	16	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの練習	46	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り
	17	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの実践	47	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
	18	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り	48	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り
	19	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの練習	49	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの実践
	20	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードのテスト	50	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り
	21	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り	51	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
	22	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの説明	52	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの振り返り
	23	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの練習	53	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの実践
	24	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの実践	54	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの振り返り
	25	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り	55	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
	26	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの練習	56	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの振り返り
	27	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードのテスト	57	MOS模擬テストPowerPoint2016 実力判定テストの実施
	28	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの振り返り	58	演習・復習日
	29	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの説明	59	演習・復習日
	30	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの練習	60	演習・復習日
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	電話応対、接遇に関する実践的な演習をし、習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	事務職の1日の流れ 2～4 電話応対応用 5～7 接遇の流れ 8～13 演習（ロールプレイング） 14～15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	経理実務
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科2年制
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択H
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間（2単位）
授業コマ数	30コマ（1コマ90分）
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務① 13 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務② 14 源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③ 15 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）① 16 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）② 17 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③ 18 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）① 19 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）② 20 源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③ 21 個人住民税の徴収及び納付① 22 個人住民税の徴収及び納付② 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要① 26 消費税法の概要② 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）① 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）② 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）③
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択H
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 年末調整のしかた① 5 年末調整のしかた② 6 年末調整のしかた③ 7 法定調書の流れ① 8 法定調書の流れ② 9 法定調書の流れ③ 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 13 労働保険の概要及び会計処理① 14 労働保険の概要及び会計処理② 15 労働保険の概要及び会計処理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	財務会計		
実務家教員			
学部・学科	法律行政科 2 年制		
履修年次	2 年次		
開講学期	後期		
科目区分	選択H		
授業方法	講義		
授業時間	9 0 時間（3 単位）		
授業コマ数	4 5 コマ（1 コマ 9 0 分）		
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義		
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る		
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤	32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間（1 単位）
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																												
授業科目	時事																												
実務家教員																													
学部・学科	法律行政科 2 年制																												
履修年次	2 年次																												
開講学期	後期																												
科目区分	選択H																												
授業方法	講義																												
授業時間	3 0 時間（1 単位）																												
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）																												
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習																												
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る																												
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる																												
教科書	テキスト及び参考書																												
特記																													
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>用語知識①</td></tr> <tr><td>2</td><td>用語知識②</td></tr> <tr><td>3</td><td>用語知識③</td></tr> <tr><td>4</td><td>用語知識④</td></tr> <tr><td>6</td><td>考え方①</td></tr> <tr><td>7</td><td>考え方②</td></tr> <tr><td>8</td><td>考え方③</td></tr> <tr><td>9</td><td>考え方④</td></tr> <tr><td>10</td><td>発表①</td></tr> <tr><td>11</td><td>発表②</td></tr> <tr><td>12</td><td>発表③</td></tr> <tr><td>13</td><td>個人研究①</td></tr> <tr><td>14</td><td>個人研究②</td></tr> <tr><td>15</td><td>個人研究③</td></tr> </table>	1	用語知識①	2	用語知識②	3	用語知識③	4	用語知識④	6	考え方①	7	考え方②	8	考え方③	9	考え方④	10	発表①	11	発表②	12	発表③	13	個人研究①	14	個人研究②	15	個人研究③
1	用語知識①																												
2	用語知識②																												
3	用語知識③																												
4	用語知識④																												
6	考え方①																												
7	考え方②																												
8	考え方③																												
9	考え方④																												
10	発表①																												
11	発表②																												
12	発表③																												
13	個人研究①																												
14	個人研究②																												
15	個人研究③																												
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト																												
備考																													

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 2 3 4・5 6・7 8 9 10・11 12・13 14・15	挨拶の種類・笑顔、お辞儀 正しい敬語の使い方 状況に応じた言葉遣い 演習 効果測定 応対の基本 名刺交換 演習 総合演習 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅥ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商品説明知識
	2	好感を持たれる商品説明
	3	演習
	4	演習
	5	クレームとは
	6	電話でのクレーム対応方法
	7	演習
	8	演習
	9	店内でのクレーム対応方法
	10	演習
	11	演習
	12	総合演習
	13	総合演習
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）		
タイトル	内容	
授業科目	言語知識（英会話基礎）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅱ	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	基本的な英会話の習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	１	英語基礎①
	２	Self Introductions
	３	Basic Conversation and Responses
	４	英語基礎②
	５	Everyday Conversation
	６	Expressing Feelings
	７	英語基礎③
	８	Emotions, Reactions, and Wh- Questions
	９	Daily Life
	１０	英語基礎④
	１１	Daily Life 2: Hospitality
	１２	Daily Life 3: Telephoning
	１３	英語基礎⑤
	１４	Responding to Foreign Visitors
	１５	Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ⅱ	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	2	中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化
	3	中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい
	4	簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5	簡単な日常挨拶(2) 基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について
	6	数字を覚えよう 年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	7	数字の活用 こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	8	存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」+名詞
	9	場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」
	10	買い物をする／値段を聞く&値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」
	11	乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看看」
	12	電話をする→「是～的」の構文・結果補語 約束する→ある経験を表す文型「動詞+过～」・まだ～していない「还没(有)～」
	13	確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」
	14	お客さんの出迎え&歓迎会 連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語 「得」
	15	別れを告げる&総復習 仮説を表す「～的话」, 「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ⅱ	
授業方法	講義	
授業時間	３０時間（１単位）	
授業コマ数	１５コマ（１コマ９０分）	
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	１．読み書きができる。 ２．以下の簡単な会話ができる ①挨拶&自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	１ オリエンテーション；韓国語に関する豆知識 基本母音 ２ 基本子音①説明&子音「K」 復習と会話 ３ 小テスト 基本子音②－「N」&「T」&「R」 基本子音③－「M」&「P」&「S」 ４ 復習と会話 基本子音④－「J」&「H」＋まとめ ５ 小テスト 激音①－「Ch」&「Kh」 復習と会話 ６ 激音②－「Th」&「Ph」＋まとめ 濃音①－「KK」&「TT」&「PP」 ７ 小テスト 復習と会話 濃音②－「SS」&「JJ」＋まとめ ８ パッチム①〔P20の説明、P23N〕 復習と会話 ９ 小テスト パッチム②〔P20K、P21B〕 パッチム③〔P22M、P21NG〕 10 復習と会話 パッチム④〔P23L、P22T〕＋まとめ 11 小テスト 合成母音①〔P25&26の説明〕 復習と会話 12 合成母音②〔P27、28〕 <1課>私は日本人です。 13 小テスト 宿題チェック <1課>私は日本人です。 14 まとめ <1課>宿題チェック／総復習 15 最終到達度確認テスト	
成績評価方法 （試験実施方法）	確認テスト100％ 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概要	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間（1 単位）	
授業コマ数	1 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	マーケティングの必要性和目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1～2	顧客満足
	3～4	マーケティングの必要性
	5～6	情報収集と分析
	7～8	流通チャネル
	9～10	プロモーション
	11～12	財務知識
	13～15	事例研究
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング基礎	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	6 0 時間（2 単位）	
授業コマ数	3 0 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1～2	店舗データの理解
	3～4	マーケティングの流れ
	5～6	売上構成分析
	7～8	来店客分析
	9～10	商品分析
	11～12	費用分析
	13～14	課題抽出
	15～16	アンケート調査分析
	17～20	企画作成
	21～22	様々なマーケティング
	23～30	プレ卒業研究
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択H	選択H
授業方法	実習	
授業時間	9 0 時間（3 単位）	
授業コマ数	4 5 コマ（1 コマ 9 0 分）	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 営業の心得④ 20 訪問の流れ① 21 訪問の流れ② 22 訪問の流れ③ 23 訪問の流れ④ 24 演習① 25 演習② 26 演習③ 27 商談の進め方① 28 商談の進め方② 29 商談の進め方③ 30 商談の進め方④	商品説明① 32 商品説明② 33 商品説明③ 34 商品説明④ 35 商品説明⑤ 36 演習① 37 演習② 38 演習③ 39 演習④ 40 総合演習① 41 総合演習② 42 総合演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プレゼンテーション	
実務家教員		
学部・学科	法律行政科2年制	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択H	
授業方法	実習	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	企画から発表までの一連の流れ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 2 3 ～ 13 14 15	プレゼンテーションとは何か プレゼンテーションの種類 企画 情報収集 シナリオ作成 コンテンツ作成 話し方 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																								
授業科目	卒業研究																								
実務家教員																									
学部・学科	法律行政科2年制																								
履修年次	2年次																								
開講学期	後期																								
科目区分	選択H																								
授業方法	実習																								
授業時間	180時間（6単位）																								
授業コマ数	90コマ（1コマ90分）																								
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する																								
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る																								
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する																								
教科書	テキスト及び参考書																								
特記																									
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>1</td><td>業界分析</td></tr> <tr> <td></td><td>情報収集</td></tr> <tr> <td></td><td>店舗分析</td></tr> <tr> <td></td><td>店舗見学</td></tr> <tr> <td>～</td><td>課題抽出</td></tr> <tr> <td></td><td>仮説</td></tr> <tr> <td></td><td>調査・検証</td></tr> <tr> <td>69</td><td>企画案作成</td></tr> <tr> <td>70～74</td><td>中間発表</td></tr> <tr> <td>75～79</td><td>再検証</td></tr> <tr> <td>80～84</td><td>最終発表</td></tr> <tr> <td>85～90</td><td>代表によるコンテストの実施</td></tr> </table>	1	業界分析		情報収集		店舗分析		店舗見学	～	課題抽出		仮説		調査・検証	69	企画案作成	70～74	中間発表	75～79	再検証	80～84	最終発表	85～90	代表によるコンテストの実施
1	業界分析																								
	情報収集																								
	店舗分析																								
	店舗見学																								
～	課題抽出																								
	仮説																								
	調査・検証																								
69	企画案作成																								
70～74	中間発表																								
75～79	再検証																								
80～84	最終発表																								
85～90	代表によるコンテストの実施																								
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況																								
備考																									

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	物権法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 I	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	物権法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	物権法概論
	2	物権の効力・物権的請求権
	3	物権変動①（不動産）
	4	物権変動②（動産）
	5	所有権・占有権
	6	用益物権
	7	担保物権①（抵当権）
	8	担保物権②（先取特権、質権、根抵当権、非典型担保）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	親族・相続法 I	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 I	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	親族・相続法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	家族法概論
	2	夫婦関係①（婚姻）
	3	夫婦関係②（離婚）
	4	親子関係
	5	後見・保佐・補助、扶養
	6	相続①（相続人・相続の効力）
	7	相続②（相続の承認・放棄、財産分離、相続人不存在）
	8	相続③（遺言、配偶者の居住権、遺留分）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法総論	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 I	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	行政法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	行政法の基礎、基本原理
	2	行政行為
	3	行政立法、行政契約、行政計画
	4	行政指導
	5	行政調査、情報管理・公開・保護制度、行政の義務履行確保制度
	6	行政争訟①
	7	行政争訟②
	8	国家補償
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民事訴訟法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 I	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	民事訴訟法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	民事訴訟の流れ・解釈原理
	2	訴訟の主体
	3	訴えの開始
	4	訴訟の審理①
	5	訴訟の審理②
	6	訴えの終了
	7	複雑訴訟形態
	8	上訴・再審、略式訴訟手続
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	工業所有権法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 I	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	工業所有権法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	工業所有権法とは
	2	特許法 1（出願 1）
	3	特許法 2（出願 2）
	4	特許法 3（特許権の効力）
	5	特許法 4（特許権の侵害 1）
	6	特許法 5（特許権の侵害 2）・実用新案法
	7	商標法
	8	意匠法・不正競争防止法
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点 100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	裁判法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 I	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	裁判法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	裁判法とは
	2	最高裁判所の概要と任務
	3	国民の司法参加制度
	4	抗告訴訟の類型
	5	刑事訴訟・民事訴訟の流れ
	6	被疑者・被告人の権利と制度趣旨
	7	裁判官の身分保障と裁判官の解任手続
	8	犯罪の国際化と刑事手続
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	外国人の地方参政権
	2	私人間効力
	3	自己決定権
	4	法定相続分差別
	5	夫婦同氏制
	6	職務命令と思想・良心の自由
	7	政教分離
	8	少年事件の推知報道
	9	プライバシーと表現の自由
	10	生命科学研究の自由と倫理
	11	適正配置規制
	12	免許制・資格制
	13	予防接種禍と国家補償
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	失踪宣告の取消しと現存利益
	2	成年後見制度
	3	民法 9 4 条 2 項類推適用
	4	他人物売買と無権代理
	5	無効と取消し
	6	取得時効と登記
	7	背信的悪意者排除論
	8	相続と新権原
	9	抵当権に基づく抵当不動産の明渡請求
	10	譲渡担保
	11	代理受領
	12	債務不履行の態様
	13	不動産賃借権
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済社会学特講Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	経済学・社会学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	日本の経済・財政事情 1
	2	日本の経済・財政事情 2
	3	日本の経済・財政事情 3
	4	GNPの決定
	5	需要と供給 1
	6	需要と供給 2
	7	経済成長
	8	国際経済 1
	9	国際経済 2
	10	租税・公債 1
	11	租税・公債 2
	12	経済と物価
	13	財政・金融政策
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	物権法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 I	
授業方法	演習	
授業時間	3 8 時間	
授業コマ数	1 9 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	物権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	物権法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	親族・相続法演習
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択 I
授業方法	演習
授業時間	7 0 時間
授業コマ数	3 5 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	親族・相続法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。
達成目標	親族・相続法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 問題演習（1） 2 問題演習（1）解説 3 問題演習（2） 4 問題演習（2）解説 5 問題演習（3） 6 問題演習（3）解説 7 問題演習（4） 8 問題演習（4）解説 9 問題演習（5） 10 問題演習（5）解説 11 問題演習（6） 12 問題演習（6）解説 13 問題演習（7） 14 問題演習（7）解説 15 問題演習（8） 16 問題演習（8）解説 17 問題演習（9） 18 問題演習（9）解説 19 問題演習（10） 20 問題演習（10）解説 21 問題演習（11） 22 問題演習（11）解説 23 問題演習（12） 24 問題演習（12）解説 25 問題演習（13） 26 問題演習（13）解説 27 問題演習（14） 28 問題演習（14）解説 29 問題演習（15） 30 問題演習（15）解説 31 問題演習（16）

	32	問題演習（１６）解説
	33	問題演習（１７）
	34	問題演習（１７）解説
	35	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法総論演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 I	
授業方法	演習	
授業時間	4 8 時間	
授業コマ数	2 4 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	行政法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	行政法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民事訴訟法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 I	
授業方法	演習	
授業時間	5 4 時間	
授業コマ数	2 7 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	民事訴訟法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	民事訴訟法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
	25	問題演習（13）
	26	問題演習（13）解説
	27	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	工業所有権法演習
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 I
授業方法	演習
授業時間	4 8 時間
授業コマ数	2 4 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	工業所有権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。
達成目標	工業所有権法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 問題演習（1） 2 問題演習（1）解説 3 問題演習（2） 4 問題演習（2）解説 5 問題演習（3） 6 問題演習（3）解説 7 問題演習（4） 8 問題演習（4）解説 9 問題演習（5） 10 問題演習（5）解説 11 問題演習（6） 12 問題演習（6）解説 13 問題演習（7） 14 問題演習（7）解説 15 問題演習（8） 16 問題演習（8）解説 17 問題演習（9） 18 問題演習（9）解説 19 問題演習（10） 20 問題演習（10）解説 21 問題演習（11） 22 問題演習（11）解説 23 問題演習（12） 24 問題演習（12）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	裁判法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 I	
授業方法	演習	
授業時間	3 4 時間	
授業コマ数	1 7 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	裁判法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	裁判法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語基礎演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 I	
授業方法	演習	
授業時間	3 8 時間	
授業コマ数	1 9 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	中国語の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	中国語の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語読解演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 I	
授業方法	演習	
授業時間	3 8 時間	
授業コマ数	1 9 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	英語読解の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	英語読解の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	債権法総論 I	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	債権法総論の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	債権の目的
	2	債権の効力（1）
	3	債権の効力（2）
	4	多数当事者の債権及び債務
	5	債権の譲渡
	6	債務の引受け
	7	債権の消滅（1）
	8	債権の消滅（2）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	債権法総論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	債権法総論の応用知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	債権の目的
	2	債務不履行責任
	3	債権者代位権
	4	詐害行為取消権
	5	連帯債権・連帯債務
	6	保証債務
	7	債権の譲渡
	8	債務の引受け
	9	弁済（1）
	10	弁済（2）
	11	相殺
	12	更改・免除・混同
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	債権法各論	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	債権法各論の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	債権法の構造、債権各論とは
	2	契約法序説
	3	契約の成立
	4	契約の効力（1）
	5	契約の効力（2）
	6	契約の効力（3）
	7	売買（1）
	8	売買（2）
	9	賃貸借（1）
	10	賃貸借（2）
	11	賃貸借（3）
	12	不法行為（1）
	13	不法行為（2）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	不動産登記法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 J
授業方法	講義
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	不動産登記法の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 不動産登記法の意義 2 表示に関する登記と権利に関する登記 3 登記はいかなる場合に必要か 4 登記をすれば、どのような効力を生ずるか 5 不動産賃借権と対抗要件 6 物権変動と登記が特に問題となる場面（1） 7 物権変動と登記が特に問題となる場面（2） 8 登記と公信力 9 登記が効力をもつための要件 10 登記はどのように行われるか 11 相続による登記 12 仮登記 13 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	刑法各論
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 J
授業方法	講義
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	刑法各論の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 刑法各論の概論 2 犯罪論の基本原則と犯罪論体系 3 刑法における人・社会・国家 4 個人的法益に対する罪（1）殺人罪 5 個人的法益に対する罪（2）傷害罪 6 個人的法益に対する罪（3）逮捕監禁罪・住居侵入罪 7 個人的法益に対する罪（4）財産罪総論 8 個人的法益に対する罪（5）財産罪①窃盗・強盗 9 個人的法益に対する罪（6）財産罪②詐欺・恐喝・横領 10 社会的法益に対する罪（1）放火罪 11 社会的法益に対する罪（2）わいせつの罪 12 社会的法益に対する罪（3）偽造罪 13 国家的法益に対する罪
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	著作権法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	著作権法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	通則
	2	著作物
	3	著作者
	4	著作財産権
	5	著作者人格権
	6	著作権の制限
	7	著作隣接権
	8	著作権の侵害
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会社法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	会社法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	会社法総論
	2	会社の設立・解散
	3	株式
	4	会社の機関①
	5	会社の機関②
	6	資金調達・計算
	7	組織再編①
	8	組織再編②、組織変更、持分会社、特例有限会社
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法社会学	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	法社会学の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	法社会学とは
	2	法の概念
	3	民事司法過程
	4	刑事司法過程
	5	行政過程
	6	法社会学の理論 1
	7	法社会学の理論 2
	8	法社会学の最前線
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本法制史	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	日本法制史の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	人文科学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	西洋法の継受
	2	民法典論争
	3	明治期の地方制度
	4	近代的な土地所有権
	5	大正期の調停制度
	6	工場法の内容と意義
	7	国家総動員法の内容と意義
	8	日本国憲法の基本理念と定められた経緯
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	西洋政治史	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	西洋政治史の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	人文科学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	普仏戦争の経緯
	2	第一次世界大戦後のドイツの賠償問題
	3	イタリアにおけるファシズムの台頭
	4	ボストン茶会事件
	5	ロシアの東進政策
	6	ウェストファリア条約
	7	第一次ロシア革命
	8	ドイツの東西分裂
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	債権法総論演習
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	前期
科目区分	選択 J
授業方法	演習
授業時間	6 6 時間
授業コマ数	3 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	債権法総論の知識をアウトプットし知識の定着を図る。
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。
達成目標	債権法総論の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 問題演習（1） 2 問題演習（1）解説 3 問題演習（2） 4 問題演習（2）解説 5 問題演習（3） 6 問題演習（3）解説 7 問題演習（4） 8 問題演習（4）解説 9 問題演習（5） 10 問題演習（5）解説 11 問題演習（6） 12 問題演習（6）解説 13 問題演習（7） 14 問題演習（7）解説 15 問題演習（8） 16 問題演習（8）解説 17 問題演習（9） 18 問題演習（9）解説 19 問題演習（10） 20 問題演習（10）解説 21 問題演習（11） 22 問題演習（11）解説 23 問題演習（12） 24 問題演習（12）解説 25 問題演習（13） 26 問題演習（13）解説 27 問題演習（14） 28 問題演習（14）解説 29 問題演習（15） 30 問題演習（15）解説 31 問題演習（16）

	32	問題演習（１６）解説
	33	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法社会学演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 J	
授業方法	演習	
授業時間	5 2 時間	
授業コマ数	2 6 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	法社会学の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	法社会学の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
	25	問題演習（13）
	26	問題演習（13）解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本法制史演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択 J	
授業方法	演習	
授業時間	4 8 時間	
授業コマ数	2 4 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	日本法制史の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	日本法制史の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	著作権法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 J	
授業方法	演習	
授業時間	4 8 時間	
授業コマ数	2 4 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	著作権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	著作権法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス法務理論	
実務家教員	○	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 J	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	3 5 時間	
授業コマ数	1 8 コマ（1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ 6 0 分）	
授業概要	実務経験者をお招きし、ビジネス法務関連知識を習得する。	
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	実践的なビジネス法務の知識の定着	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	実務経験者における講義（1）
	2	個人研究①
	3	個人研究②
	4	グループ研究①
	5	グループ研究②
	6	グループ研究③
	7	グループ討論①
	8	グループ討論②
	9	振り返り
	10	実務経験者における講義（2）
	11	個人研究①
	12	個人研究②
	13	グループ研究①
	14	グループ研究②
	15	グループ研究③
	16	グループ討論①
	17	グループ討論②
	18	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	G P S 捜査
	2	接見指定
	3	国家賠償責任の免除・制限
	4	生存権の法的性格
	5	教育を受ける権利と教育権
	6	公務員の労働基本権
	7	在外日本国民の選挙権
	8	議員定数不均衡
	9	選挙制度
	10	集団的自衛権
	11	裁判員制度
	12	国民健康保険と租税法律主義
	13	自治体の課税権
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	家事事件手続法
	2	同性パートナーシップと同性婚
	3	再婚禁止期間
	4	選択的夫婦別姓
	5	有責配偶者からの離婚請求
	6	離婚時の年金分割
	7	財産分与の対象
	8	面会交流の強制
	9	嫡出推定制度
	10	生殖補助医療
	11	特別養子縁組
	12	成年後見制度
	13	特別縁故者の範囲
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済社会学特講Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 J	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	経済学・社会学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	日本経済と労働事情 1
	2	日本経済と労働事情 2
	3	雇用関係（雇用・失業）
	4	雇用関係（賃金・労働時間）
	5	社会保険制度 1
	6	社会保険制度 2
	7	財政制度と社会保険 1
	8	財政制度と社会保険 2
	9	社会政策の国際的統一化
	10	国際労働基準 1
	11	国際労働基準 2
	12	国際労働条約の経済効果
	13	社会政策の本質
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法学入門
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 K
授業方法	講義
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	法学入門の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 憲法とは、統治総論 2 国民主権、天皇 3 選挙制度・選挙権 4 国会 5 内閣 6 裁判所 7 地方自治、戦争放棄と自衛隊 8 人権保障の仕組み 9 思想・良心の自由、信教の自由、政教分離 10 表現の自由と知る権利、集会・結社の自由 11 職業選択の自由、財産権 12 刑事手続上の権利 13 生存権、教育を受ける権利、勤労の権利と労働基本権
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	私法入門Ⅰ（財産法）	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科２年制	
履修年次	１年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	講義	
授業時間	２６時間	
授業コマ数	１３コマ（１コマ１２０分）	
授業概要	私法入門Ⅰ（財産法）の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	私法入門総論
	2	人
	3	法律行為総論
	4	意思表示
	5	代理
	6	時効
	7	物権総論
	8	担保物権
	9	債権の効力
	10	多数当事者の債権債務関係
	11	債権の消滅
	12	契約総論、契約各論
	13	不法行為
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	私法入門Ⅱ（家族法）	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅱ	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	私法入門Ⅱ（家族法）の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	婚姻の成立
	2	婚姻の効果
	3	離婚の成立
	4	離婚の効果
	5	親子
	6	親権、子の保護
	7	成年後見
	8	扶養
	9	相続の意義、相続人
	10	相続分
	11	相続の承認・放棄、相続財産の範囲と遺産分割
	12	遺言、遺留分
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語基礎	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択K	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	中国語の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	中国語言語学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	発音①（声調・短母音）
	2	発音②（子音・複母音・鼻母音・声調変化）
	3	自己紹介をする
	4	電話を掛ける
	5	約束・予定を決める
	6	カフェ・レストランで注文をする
	7	道案内をする
	8	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語読解	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	中国語の応用知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	中国語言語学分野の応用知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	発音①（声調・短母音）
	2	発音②（子音・複母音）
	3	発音③（鼻母音・声調変化）
	4	発音④（まとめ）
	5	自己紹介をする
	6	電話を掛ける
	7	約束・予定を決める
	8	カフェ・レストランで注文をする
	9	道案内をする
	10	観光地・名産品を紹介する
	11	ショッピングをする
	12	相手を褒める
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語読解	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	英語読解の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	英語読解の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	英文読解（日本昔話）
	2	英文読解（アメリカの歴史）
	3	英文読解（小説）
	4	英文読解（日本人とアメリカ人の違い）
	5	英文読解（日本人論）
	6	英文読解（著名人）
	7	英文読解（アメリカの文化・生活習慣）
	8	英文読解（日本経済）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語総合	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	基礎的な文法・語彙を取得し、発信型の英語力を養成する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	語彙・文法力・読解力・聴解力といった総合的英語力の伸長。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	イントロダクション
	2	発音ルール 1 と日常会話表現 1
	3	発音ルール 2 と日常会話表現 2
	4	発音ルール 3 と日常会話表現 3
	5	発音ルール 4 と日常会話表現 4
	6	発音ルール 5 と日常会話表現 5
	7	発音ルール 6 と日常会話表現 6
	8	英語の歌
	9	英語のドラマ
	10	有名人のスピーチ 1
	11	有名人のスピーチ 2
	12	有名人のスピーチ 3
	13	英語で自己紹介
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点 100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会保障法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	社会保障法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	社会保障法総論
	2	公的医療保険①
	3	公的医療保険②
	4	介護保険
	5	年金保険①
	6	年金保険②
	7	年金保険③
	8	労災保険①
	9	労災保険②
	10	雇用保険①
	11	雇用保険②
	12	雇用保険③
	13	社会保障法まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費者保護法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	消費者保護法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	消費者保護法総論
	2	消費者契約法総論
	3	誤認による取消し
	4	困惑による取消し
	5	不当条項規制
	6	団体訴訟制度
	7	消費者裁判手続特例法
	8	訪問販売
	9	電話勧誘販売、通信販売、業務提供誘因販売取引
	10	連鎖販売取引、特定継続的役務提供、訪問購入
	11	預金者保護法
	12	利息法制
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	地方自治法
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 K
授業方法	講義
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	地方自治法の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 地方自治法総論 2 地方公共団体の構成要素 3 地方公共団体（1）：地方公共団体の意義、普通地方公共団体① 4 地方公共団体（2）：普通地方公共団体② 5 地方公共団体（3）：特別地方公共団体 6 地方公共団体の事務（1）：機関委任事務制度の廃止 7 地方公共団体の事務（2）：自治事務と法定受託事務 8 条例（1）：条例制定権と条例制定手続 9 条例（2）：憲法・法律と条例の関係 10 地方公共団体の財務 11 地方自治と住民（1）：選挙、住民投票、直接請求 12 地方自治と住民（2）：住民監査請求、住民訴訟 13 長と議会の関係
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	労働法	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年 1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	労働法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	労働法総論
	2	労働契約と労働条件
	3	就業規則と企業秩序
	4	労働時間、休憩、休日、休暇
	5	賃金
	6	解雇、退職、雇止め
	7	非正規雇用
	8	母性保護と均等待遇
	9	ハラスメント
	10	労働者の安全衛生
	11	労働災害と労働補償
	12	労働組合の役割
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	私法入門Ⅲ（商法）	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	私法入門Ⅲ（商法）の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	商法の基本概念
	2	商法の特徴
	3	商法の法源
	4	商法の適用
	5	商人
	6	商行為
	7	商人資格の取得および喪失時期
	8	商法総則
	9	商行為法
	10	会社法：会社の意義、株式、機関、計算、訴訟
	11	有価証券法（手形法・小切手法）
	12	保険法
	13	海商法
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	公法入門
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 K
授業方法	講義
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	公法入門の知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 裁判制度：裁判所組織と三審制 2 憲法の最高法規性：違憲立法審査権、違憲審査基準 3 人権総論：人権の歴史と内容、基本的人権の限界 4 幸福追求権：自己決定権、プライバシーの権利 5 法の下での平等：非嫡出子相続分差別事件 6 精神的自由：思想・良心の自由、信教の自由 7 表現の自由：表現の自由の優越的地位 8 学問の自由：大学の自治と学問研究の自由 9 人身の自由：刑事被告人、被疑者の権利 10 生存権：生存権の法的性格と生活保護受給権 11 労働基本権：公務員の労働基本権 12 参政権：選挙運動規制、外国人の地方参政権 13 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	親族・相続法Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択Ⅱ
授業方法	講義
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	親族・相続法の応用知識をインプットする。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 親族法総論 2 夫婦関係①（婚姻） 3 夫婦関係②（離婚） 4 親子関係①（実親子関係） 5 親子関係②（養親子関係） 6 後見・保佐・補助、扶養 7 相続法総論 8 相続人 9 相続の効力 10 相続の承認・放棄、財産分離、相続人不存在 11 遺言・遺産分割 12 配偶者の居住権、遺留分 13 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	刑事法入門
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 K
授業方法	講義
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	刑事法の基礎知識と考え方を習得する。
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書
特記	
授業計画	1 刑事法とは 2 刑法総論 1 刑法の諸原則・構成要件 3 刑法総論 2 違法性・責任 4 刑法各論 1 個人的法益に対する罪 5 刑法各論 2 社会的法益に対する罪・国家的法益に対する罪 6 刑事訴訟法 1 捜査 7 刑事訴訟法 2 公訴 8 刑事訴訟法 3 公判 9 刑事訴訟法 4 証拠 10 刑事学 1 我が国の犯罪状況 11 刑事学 2 犯罪者 12 刑事学 3 被害者 13 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	政治学入門	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	政治学の基礎知識や考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	政治学の基礎概念 1
	2	政治学の基礎概念 2
	3	現代社会と政治 1
	4	現代社会と政治 2
	5	政治過程論 1
	6	政治過程論 2
	7	政治過程論 3
	8	政治制度論 1
	9	政治制度論 2
	10	政治思想と政治理論 1
	11	政治思想と政治理論 2
	12	政治思想と政治理論 3
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国際法入門	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	国際法の基礎知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	国際法とは
	2	国際公法 1 条約
	3	国際公法 2 国家
	4	国際公法 3 国家責任
	5	国際公法 4 国際法と個人
	6	国際公法 5 国際紛争
	7	国際司法 1 総論
	8	国際司法 2 各論 1
	9	国際司法 3 各論 2
	10	国際司法 4 国際民事手続法
	11	国際連合
	12	国際人権法
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財政学総論	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	財政学の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	イントロダクション
	2	財政制度
	3	日本の財政事情 1
	4	日本の財政事情 2
	5	租税 1
	6	租税 2
	7	租税 3
	8	公債 1
	9	公債 2
	10	地方財政
	11	日本財政史
	12	財政事情の国際比較
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会政策	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	社会政策の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	社会政策とは
	2	労働経済 1 歴史
	3	労働経済 2 雇用・失業
	4	労働経済 3 賃金・労働時間
	5	労働経済 4 労使関係・労災
	6	労働経済 5 労働事情 1
	7	労働経済 6 労働事情 2
	8	社会保障 1 歴史
	9	社会保障 2 医療保険
	10	社会保障 3 年金保険
	11	社会保障 4 介護保険
	12	社会保障 5 労働保険
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点 100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済原論	
実務家教員		
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 K	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）	
授業概要	マクロ経済学の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	マクロ経済の測定
	2	短期 1 経済規模
	3	短期 2 貨幣と利子率
	4	短期 3 政策効果
	5	短期 4 国際マクロ経済 1
	6	短期 5 国際マクロ経済 2
	7	長期 1 消費
	8	長期 2 貯蓄・投資
	9	長期 3 経済成長
	10	長期 4 物価と失業率
	11	長期 5 物価と資産
	12	マクロ経済政策
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	キャリアマネジメント
実務家教員	
学部・学科	法律ビジネス科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	選択 K
授業方法	演習
授業時間	2 6 時間
授業コマ数	1 3 コマ（1 コマ 1 2 0 分）
授業概要	キャリア理論の基礎知識を習得する。
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション
達成目標	キャリア理論の基礎知識の定着
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト
特記	
授業計画	1 キャリアとキャリアマネジメント 2 なぜキャリアマネジメントが求められるのか 3 グループワーク①（自分を知る） 4 自身の未知の可能性を探る 5 自己理解を促進するコミュニケーションとは何か 6 キャリア理論①（スーパーの理論、ホランドの理論等） 7 キャリア理論②（イバーラの理論、シャインの理論等） 8 グループワーク②（キャリア理論を確認する） 9 各世代のキャリア開発について考察する 10 ダイバーシティとワークライフバランスについて考察する 11 カウンセリング・コーチング・ティーチングの基礎理論を学ぶ 12 グループワーク③（これからのキャリアマネジメント） 13 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	職業実務Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	選択L
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	1 5 時間
授業コマ数	8 コマ ※8 コマ目のみ 6 0 分
授業概要	実務経験のある講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成し、実習にも参加する
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する
教科書	なし
特記	元横浜消防教官鎌田氏および官公庁関係者による公務員職に関する研究
授業計画	1 消防職経験者講義 1（消防官に求められる資質） 2 消防職経験者講義 2（自助・共助・公助） 3 消防職経験者講義 3（消防と我が人生） 4 官公庁実務者講義 1 5 官公庁実務者講義 2 6 官公庁実務者講義 3 7 官公庁実務者講義 4 8 研究レポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、レポートの完成度
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	職業実務Ⅲ																
実務家教員	○																
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	2 年次																
開講学期	前期																
科目区分	選択Ⅰ																
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																
授業時間	1 5 時間																
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ 6 0 分です）																
授業概要	官公庁に出向き、講師から得た知識を基に職種研究を行う																
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する																
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事内容を理解する																
教科書	なし																
特記	実務経験者による講義を基にした演習（福井県庁、福井税務署、裁判所など）																
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>実務経験者における講義 1</td></tr> <tr><td>2</td><td>実務経験者における講義 2</td></tr> <tr><td>3</td><td>実務経験者における講義 3</td></tr> <tr><td>4</td><td>実務経験者における講義 4</td></tr> <tr><td>5</td><td>レポート作成 1</td></tr> <tr><td>6</td><td>レポート作成 2</td></tr> <tr><td>7</td><td>レポート作成 3</td></tr> <tr><td>8</td><td>レポート作成 4</td></tr> </table>	1	実務経験者における講義 1	2	実務経験者における講義 2	3	実務経験者における講義 3	4	実務経験者における講義 4	5	レポート作成 1	6	レポート作成 2	7	レポート作成 3	8	レポート作成 4
1	実務経験者における講義 1																
2	実務経験者における講義 2																
3	実務経験者における講義 3																
4	実務経験者における講義 4																
5	レポート作成 1																
6	レポート作成 2																
7	レポート作成 3																
8	レポート作成 4																
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある																

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																
授業科目	職業実務Ⅳ																
実務家教員	○																
学部・学科	法律行政科 2 年制																
履修年次	2 年次																
開講学期	後期																
科目区分	選択Ⅰ																
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）																
授業時間	1 5 時間																
授業コマ数	8 コマ（1 コマ 1 2 0 分、最終コマのみ 6 0 分です）																
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う																
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、地域行政に関してプレゼンテーションを行う																
達成目標	地域行政に関する基礎知識を身に付け、地域の問題解決に寄与する提案を発表する。																
教科書	なし																
特記	福井市職員による講義を基にした演習																
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>実務経験者における講義①</td></tr> <tr><td>2</td><td>実務経験者における講義② 個人研究</td></tr> <tr><td>3</td><td>グループワーク①</td></tr> <tr><td>4</td><td>グループワーク②</td></tr> <tr><td>5</td><td>グループワーク③</td></tr> <tr><td>6</td><td>グループワーク④</td></tr> <tr><td>7</td><td>実務経験者における講義③（プレゼンテーション・総評）</td></tr> <tr><td>8</td><td>振り返り</td></tr> </table>	1	実務経験者における講義①	2	実務経験者における講義② 個人研究	3	グループワーク①	4	グループワーク②	5	グループワーク③	6	グループワーク④	7	実務経験者における講義③（プレゼンテーション・総評）	8	振り返り
1	実務経験者における講義①																
2	実務経験者における講義② 個人研究																
3	グループワーク①																
4	グループワーク②																
5	グループワーク③																
6	グループワーク④																
7	実務経験者における講義③（プレゼンテーション・総評）																
8	振り返り																
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度																
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合があります																

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅴ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政科２年制	
履修年次	２年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	１５時間	
授業コマ数	８コマ（１コマ１２０分、最終コマのみ６０分です）	
授業概要	公安職（警察、消防、自衛隊、海保）に関する講義（または演習・実習）を行い、その講義（演習・実習）から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	講義（演習・実習）後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	各種公安職について、年度により変更される場合がある。	
授業計画	1 2 3 4 5 6 7 8	警察職・消防職・自衛官における講義１（または演習・実習） レポート作成１ レポート作成２ レポート作成３ 海上保安官における講義２（または演習・実習） レポート作成１ レポート作成２ レポート作成３
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択L
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習
授業計画	1 法律概論 2 民法①（講義） 3 民法課題研究 4 民法②（講義） 5 民法課題研究 6 憲法①（講義） 7 憲法②（講義） 8 憲法課題研究 9 行政法①（講義） 10 行政法②（講義） 11 行政法課題研究 12 刑法①（講義） 13 刑法課題研究 14 刑法②（講義） 15 刑法課題研究
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートの内容で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	行政研究
実務家教員	○
学部・学科	法律行政科 2 年制
履修年次	2 年次
開講学期	後期
科目区分	選択L
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	
授業計画	1 災害対策の枠組み（講義） 2 災害対策の実例（講義） 3 課題研究 1 4 課題研究 2 5 課題研究 3 6 課題研究 4 7 課題研究 5 8 課題研究 6 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	公共ボランティア実習Ⅰ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	1 年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択Ⅱ																														
授業方法	実習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める																														
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する																														
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける																														
教科書	なし																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>ボランティアの基礎知識</td></tr> <tr><td>2</td><td>自治体とボランティア</td></tr> <tr><td>3</td><td>ボランティア実体験①</td></tr> <tr><td>4</td><td>ボランティア実体験②</td></tr> <tr><td>5</td><td>ボランティア実体験③</td></tr> <tr><td>6</td><td>ボランティア実体験④</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボランティア実体験⑤</td></tr> <tr><td>8</td><td>ボランティア実体験⑥</td></tr> <tr><td>9</td><td>ボランティア実体験⑦</td></tr> <tr><td>10</td><td>ボランティア実体験⑧</td></tr> <tr><td>11</td><td>ボランティア実体験⑨</td></tr> <tr><td>12</td><td>ボランティア実体験⑩</td></tr> <tr><td>13</td><td>ボランティア実体験⑪</td></tr> <tr><td>14</td><td>ボランティア実体験⑫</td></tr> <tr><td>15</td><td>ボランティアレポート</td></tr> </table>	1	ボランティアの基礎知識	2	自治体とボランティア	3	ボランティア実体験①	4	ボランティア実体験②	5	ボランティア実体験③	6	ボランティア実体験④	7	ボランティア実体験⑤	8	ボランティア実体験⑥	9	ボランティア実体験⑦	10	ボランティア実体験⑧	11	ボランティア実体験⑨	12	ボランティア実体験⑩	13	ボランティア実体験⑪	14	ボランティア実体験⑫	15	ボランティアレポート
1	ボランティアの基礎知識																														
2	自治体とボランティア																														
3	ボランティア実体験①																														
4	ボランティア実体験②																														
5	ボランティア実体験③																														
6	ボランティア実体験④																														
7	ボランティア実体験⑤																														
8	ボランティア実体験⑥																														
9	ボランティア実体験⑦																														
10	ボランティア実体験⑧																														
11	ボランティア実体験⑨																														
12	ボランティア実体験⑩																														
13	ボランティア実体験⑪																														
14	ボランティア実体験⑫																														
15	ボランティアレポート																														
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価																														
備考																															

授業概要（シラバス）

タイトル	内容																														
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ																														
実務家教員																															
学部・学科	法律行政科 2 年制																														
履修年次	2 年次																														
開講学期	通年																														
科目区分	選択Ⅰ																														
授業方法	実習																														
授業時間	3 0 時間																														
授業コマ数	1 5 コマ																														
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める																														
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する																														
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける																														
教科書	なし																														
特記																															
授業計画	<table> <tr><td>1</td><td>ボランティアの基礎知識</td></tr> <tr><td>2</td><td>自治体とボランティア</td></tr> <tr><td>3</td><td>ボランティア実体験①</td></tr> <tr><td>4</td><td>ボランティア実体験②</td></tr> <tr><td>5</td><td>ボランティア実体験③</td></tr> <tr><td>6</td><td>ボランティア実体験④</td></tr> <tr><td>7</td><td>ボランティア実体験⑤</td></tr> <tr><td>8</td><td>ボランティア実体験⑥</td></tr> <tr><td>9</td><td>ボランティア実体験⑦</td></tr> <tr><td>10</td><td>ボランティア実体験⑧</td></tr> <tr><td>11</td><td>ボランティア実体験⑨</td></tr> <tr><td>12</td><td>ボランティア実体験⑩</td></tr> <tr><td>13</td><td>ボランティア実体験⑪</td></tr> <tr><td>14</td><td>ボランティア実体験⑫</td></tr> <tr><td>15</td><td>ボランティアレポート</td></tr> </table>	1	ボランティアの基礎知識	2	自治体とボランティア	3	ボランティア実体験①	4	ボランティア実体験②	5	ボランティア実体験③	6	ボランティア実体験④	7	ボランティア実体験⑤	8	ボランティア実体験⑥	9	ボランティア実体験⑦	10	ボランティア実体験⑧	11	ボランティア実体験⑨	12	ボランティア実体験⑩	13	ボランティア実体験⑪	14	ボランティア実体験⑫	15	ボランティアレポート
1	ボランティアの基礎知識																														
2	自治体とボランティア																														
3	ボランティア実体験①																														
4	ボランティア実体験②																														
5	ボランティア実体験③																														
6	ボランティア実体験④																														
7	ボランティア実体験⑤																														
8	ボランティア実体験⑥																														
9	ボランティア実体験⑦																														
10	ボランティア実体験⑧																														
11	ボランティア実体験⑨																														
12	ボランティア実体験⑩																														
13	ボランティア実体験⑪																														
14	ボランティア実体験⑫																														
15	ボランティアレポート																														
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価																														
備考																															